令和２年７月豪雨復旧・復興本部会議（第１０回）

日　時：令和４年７月４日（月）10:00～
場　所：審議会室

次　　第

１　開　　会

２　黙　　祷

３　本 部 長（知 事）挨 拶

４　議　　事

・令和２年７月豪雨からの復旧・復興の進捗状況

資料１　資料２

５　そ の 他

６　閉　　会

“緑の流域治水”の推進と復旧・復興に向けた重点10項目

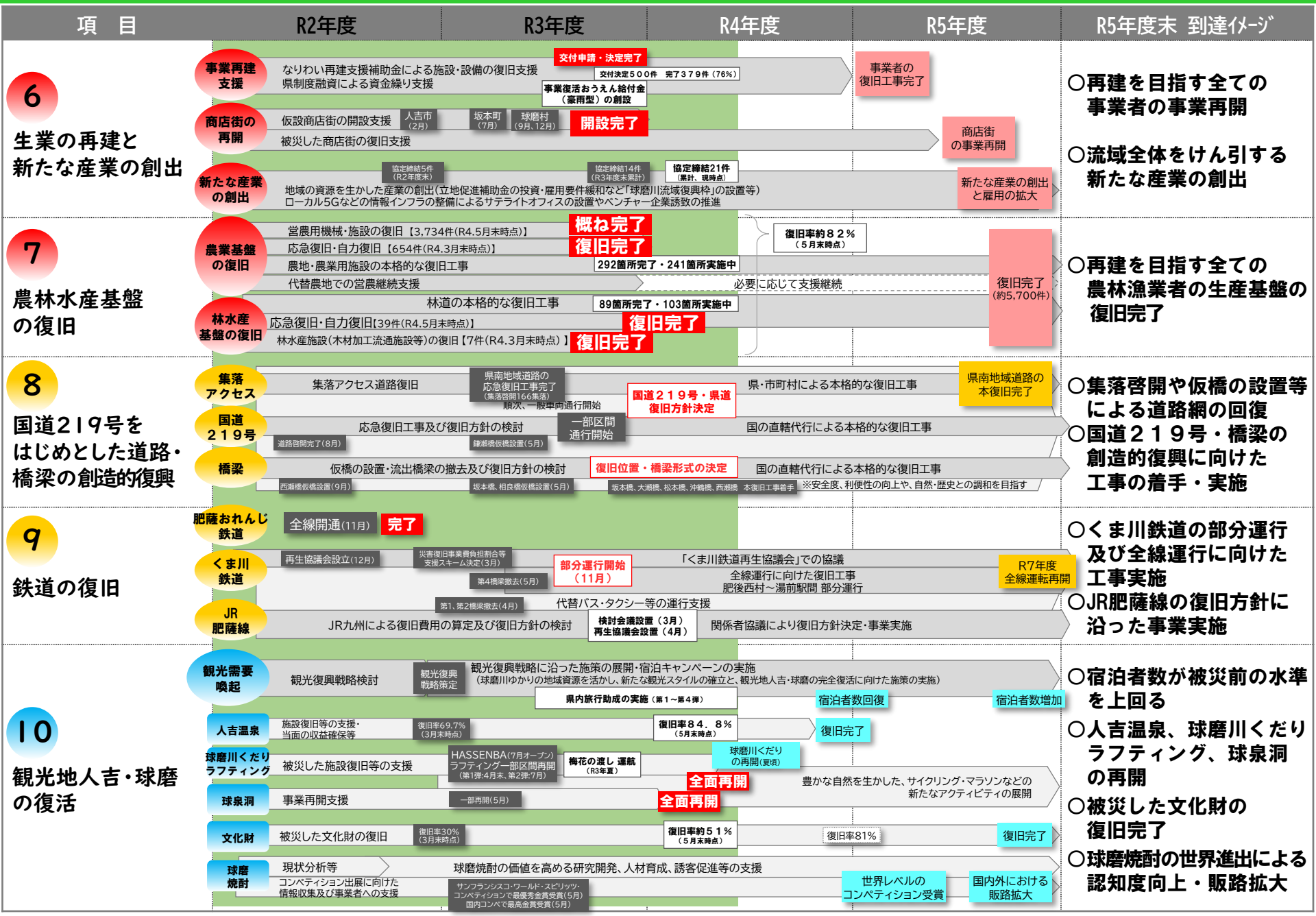
資料1

項　目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度末　到達イメージ
1 堆積土砂の撤去など河川の緊急対策	堆積土砂：県管理河川の堆積土砂撤去【93万㎥】	撤去完了	流下能力維持・確保のため、必要な土砂撤去の継続的な実施		○堆積土砂の撤去完了
	河道掘削：動植物の生息・生育環境や河川の利活用等に配慮のうえ、最大限の掘削を実施		44万㎥の掘削完了	継続的な河道掘削を推進	流域治水プロジェクト 約320万㎥掘削完了
	災害復旧：49箇所応急対策完了(8月)　県管理の河川施設の復旧		本復旧工事250箇所着手	394箇所復旧	○計画的な河道掘削・河川施設の復旧の実施
	河川情報の充実：河川カメラ・水位計の増設	<R2年度実績> 河川カメラ2基 水位計2基 増設	河川カメラ15基 水位計15基　増設（権限代行含む）	計画的な増設等の検討	
2 治山・砂防による山の再生・強化	堆積土砂流木：砂防堰堤の堆積土砂・流木の撤去【17箇所】	撤去完了	維持管理上、必要な土砂撤去の継続的な実施		○緊急的な治山・砂防施設の復旧・整備完了
	治山ダム等の堆積土砂・流木の撤去【17箇所】	15箇所完了・1箇所実施（1箇所応急措置済）			
	治山：治山施設の復旧	1箇所完了・4箇所実施中		18箇所復旧完了	
	緊急的な治山施設の整備	29箇所完了・29箇所実施中		71箇所復旧完了	
	その他の治山施設の整備（99箇所）	9箇所実施中		（完了はR7年度）30箇所復旧	
	砂防施設：砂防施設の復旧	21箇所完了、66箇所実施中		237箇所完了	
	緊急的な砂防施設の整備	2箇所整備・14箇所実施中		17箇所整備	
	その他砂防施設の整備【23箇所】	4箇所実施中		（完了はR7年度）20箇所整備	
	万江川流域土砂・洪水氾濫対策 新規事業採択		（R13年度完了）		
3 “いのち”を守る防災・減災力の強化	戸別受信機：市町村への設置補助・支援	全世帯設置完了	継続的な避難訓練実施		○全世帯への戸別受信機等の設置とＬ２ハザードマップの更新・周知
	ハザードマップ：L2対応ハザードマップへの更新（国管理・県管理水位周知河川）	L2ハザードマップ更新・周知完了	水位周知河川以外の河川のL2対応ハザードマップへ更新		
	マイタイムライン：マイタイムラインの普及	ガイドブックの県HP掲載 全世帯配布・訓練実施	専用WEBサイト開設 作成支援動画制作	マイタイムラインを活用した防災教育支援や住民参加型訓練の実施	○マイタイムラインの全世帯への普及
				全世帯へのマイタイムライン普及	
	避難計画：要支援者個別避難計画・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援	100％作成完了	計画の実効性の更なる向上、地区防災計画の策定推進		○要支援者等の避難計画１００％作成
			新たに地域防災計画に掲載された施設の避難確保計画作成支援や避難訓練研修等の継続実施		
	田んぼダム：モデル地区選定・せき板配布	296ha(7市町村)で実証実験実施	事業効果の検証 課題抽出	人吉球磨地域への田んぼダム普及・拡大	○人吉球磨地域への田んぼダム普及・拡大
				540ha	
4 本格的な住まいの再建	住まいの再建：全808戸建設完了(12月9日)　指定避難所解消(12月31日)	応急仮設等入居者数 1,814戸4,217人（R3.1 ピーク時）	応急仮設等入居者数 1,195戸 2,618人（R4.6末時点）	<すまいの再建支援策> ①リバースモーゲージ利子助成、②自宅再建利子助成 ③民間賃貸住宅入居助成、④公営住宅入居助成　⑤転居費用助成	○被災された方々お一人お一人の意向に沿った住まいの再建・確保の完了
	建設型応急住宅の建設・提供				
	賃貸型応急住宅・公営住宅の提供		木造仮設住宅の利活用「くまもとモデル」実現 R4.8 相良村【第1号】		
	本格的な住まいの再建に向けた強力な支援				
	災害公営住宅：意向確認・建設戸数の把握	災害公営住宅の設計・工事等の支援	【工事中】2地区、62戸 【設計中】7地区、159戸 【検討中】3地区、73戸	【R4入居開始】相良村2戸	【R5入居開始】八代市10戸、人吉市175戸、芦北町21戸、球磨村74戸
	災害廃棄物：災害廃棄物処理支援	公費解体(3月末時点)完了率99.9%	概ね処理完了	被災者への配慮案件の対応を一部継続	○災害廃棄物処理完了
	公費解体支援				
5 被災地のまちづくりと集落再生	市町村の復興計画策定支援	復興計画策定（八代市、人吉市、芦北町、相良村、山江村、球磨村）	まちづくり計画策定支援	復興まちづくり計画策定（八代市、人吉市、相良村、球磨村）	まちづくりの推進
	人吉市まちづくり：住民の意向把握	都市計画決定手続の支援（国道445号整備、避難路・避難地の整備　等）	土地区画整理事業 都市計画の決定（青井地区）	先行買収等事業着手	測量・用地買収・改良工事
		被災市街地復興推進地域 都市計画の決定(7月)	土地区画整理事業 都市計画の決定（紺屋町）	遊水地候補地のまちづくり手法検討・決定	順次、まちづくりの具現化
	球磨村 坂本町・芦北町 集落再生：住民の意向把握・事業計画作成・概略設計	地元説明会・懇談会の開催	集落再生方針決定	球磨村 宅地造成着手（県受託）	宅地嵩上げ等の実施、住宅移転促進
	道路・ライフラインの復旧	千寿園仮設施設完成(3月)	坂本支所再建位置決定(1月)	測量・用地買収・造成工事	緊急治水対策プロジェクト 第一段階で 輪中堤・宅地かさ上げ完了
					順次、集落再生の実現
					坂本支所再建(R7)

○甚大な被害を受けた地域のまちづくり・集落再生の実現

※上記の達成率等には、特別な事情により復旧等が困難な場合は含みません。

“緑の流域治水”の推進と復旧・復興に向けた重点10項目



※上記の達成率等には、特別な事情により復旧等が困難な場合は含みません。

資料2

令和2年7月豪雨からの復旧・復興の進捗状況

～“緑の流域治水”と復旧・復興に向けた重点10項目を中心に～

令和4年(2022年)7月4日

熊　本　県

緑の流域治水

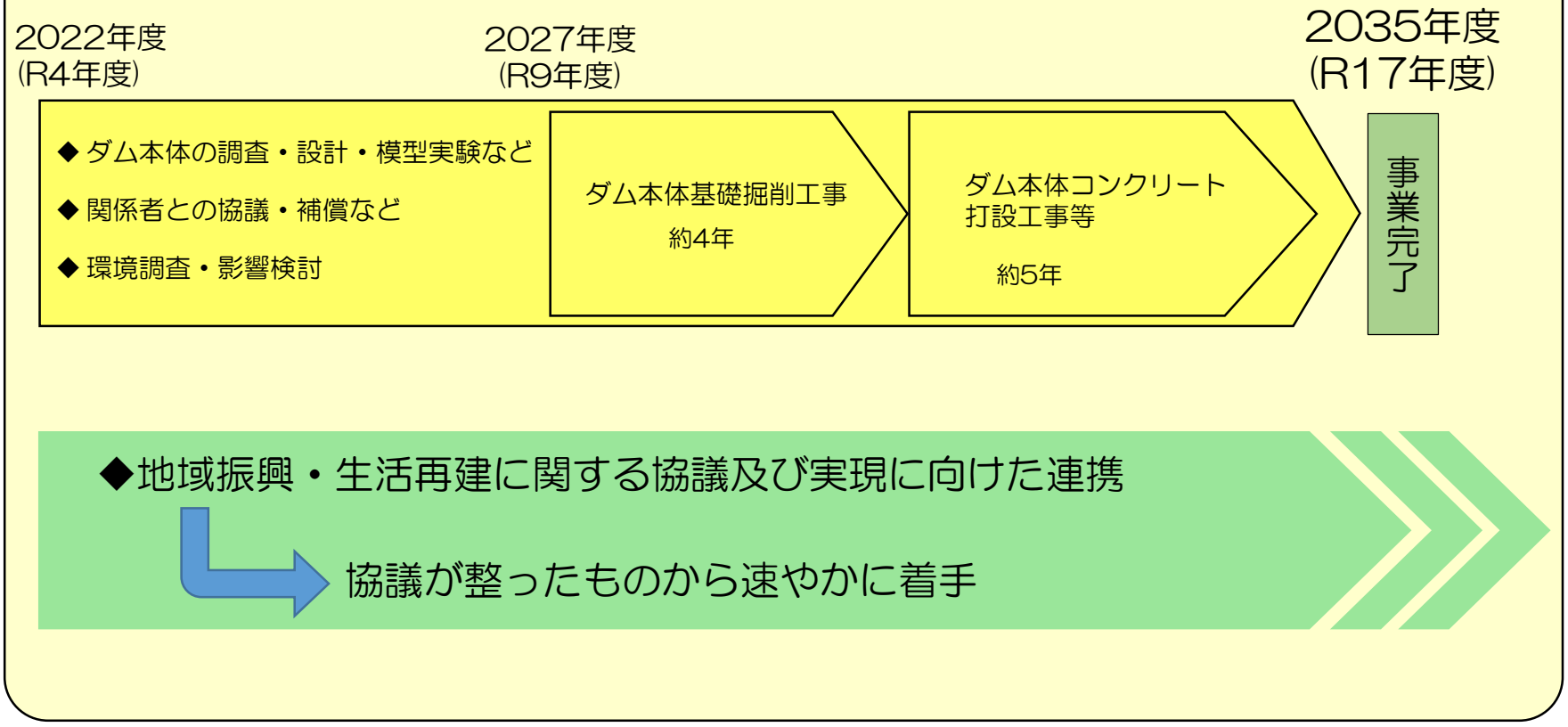
生命・財産を守る安全・安心の最大化と
環境への影響の最小化のベストミックス

流水型ダム完成までのロードマップ

令和4年3月28日開催「第4回球磨川水系学識者懇談会」資料1より

〇流水型ダムの工期については、他ダムの事例等を参考に、**調査・設計や関係者との調整に5年、ダム本体関連工事9年（基礎掘削4年、本体打設5年）と想定し、令和17年に事業完了**と設定している。
〇なお、以下のロードマップは概略検討に基づいて設定しており、今後も工期短縮に努める。

◆流水型ダム完成までのロードマップ



※上記の流水型ダム完成までのロードマップは、今後の関係者との調整等により変更の可能性がある。

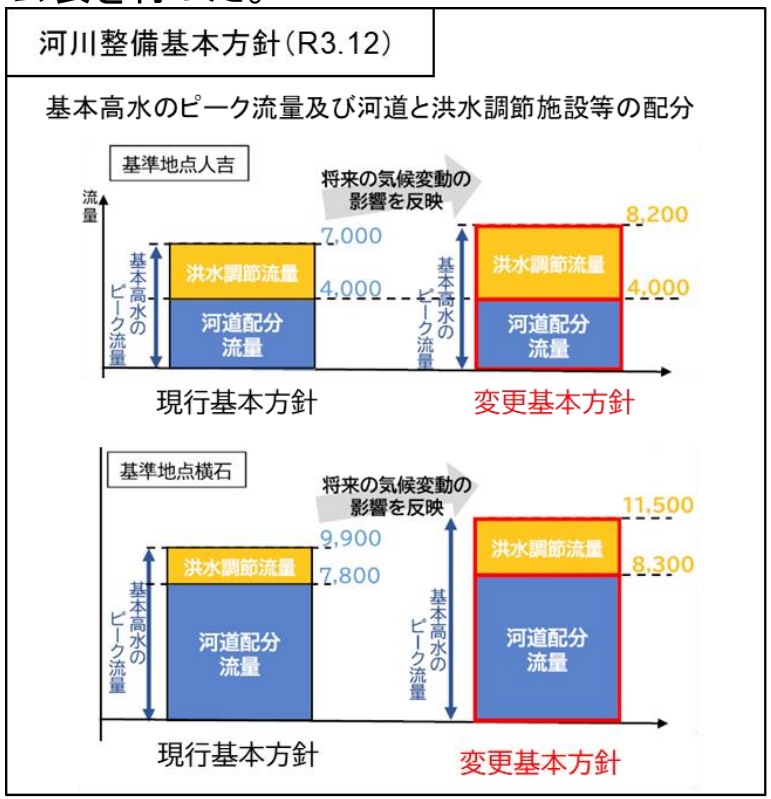
球磨川水系河川整備計画の策定について

○球磨川水系河川整備基本方針については、「気候変動」と「流域治水」の新たな視点を踏まえた見直しが行われ、令和3年12月に“緑の流域治水”の考えが盛り込まれた新たな基本方針に変更された。

○現在、国と県が連携し、**「緑の流域治水」による、球磨川流域における「命と環境の両立」「令和2年7月豪雨からの復旧と創造的復興」「持続可能な発展」の実現**を理念とした「河川整備計画」を策定中。

○計画の原案を令和4年4月に公表、4月～5月にかけてパブリックコメント及び公聴会を実施し、延べ488件の意見を頂いた。

○住民の皆様や学識経験者から頂いた御意見を十分検討したうえで、計画（案）を作成し、令和4年7月1日に公表を行った。



出典：河川整備基本方針検討小委員会

出典：球磨川水系学識者懇談会

球磨川水系河川整備計画の策定について

河川整備計画策定に向けたスケジュール

令和3年度

※学識者懇談会については必要に応じて適宜開催

第1回学識者懇談会　(R3.8.4)
- 球磨川流域の概要について
- 令和２年７月豪雨について　等

現地視察　(R.3.10.13～14)

第2回学識者懇談会　(R3.12.13)
- 河川整備計画（原案）に盛り込むべき河川整備の考え方の整理　等

第3回学識者懇談会　(R4.2.17)
- 河川整備計画（原案）に盛り込むべき河川整備の考え方の整理
- 河川整備計画で位置づける整備メニュー（目標流量を安全に流下させるための対策）等

意見等

球磨川水系河川整備基本方針の変更　(R3. 12. 17)

河川整備計画（原案）公表（R4.4.4）

意見を反映させるために必要な措置

意見等

関係住民意見聴取
パブリックコメント　R4.4.4～R4.5.6
公聴会（10会場）　R4.4.23～R4.4.27

第4回学識者懇談会　(R4.3.28)
- 球磨川水系河川整備計画（国管理区間）（原案）（案）
- 球磨川水系河川整備計画（県管理区間）（原案）（案）　等

令和4年度

意見等

第1回学識者懇談会　(R4.6.24)
- 河川整備計画（案）の案
- 事業再評価　等

河川整備計画（案）公表（R4.7.1）

意見聴取

意見等

関係都道府県知事（国管理区間）
関係市町村長（県管理区間）

河川整備計画の策定・公表

河川整備計画に基づく河川整備の実施

【内容について点検】

※今後学識者懇談会にて実施

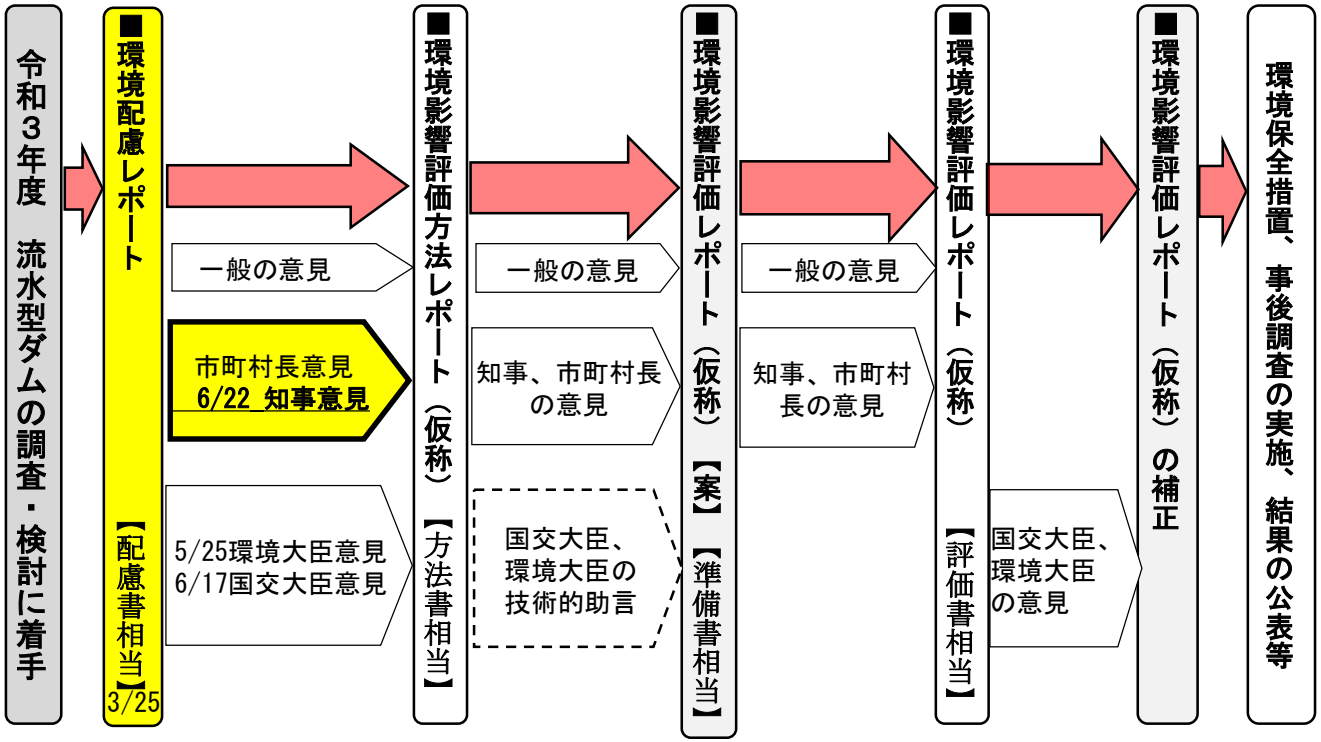
環境影響評価（環境アセスメント）

〇これまで実施してきたダム関連の工事等による現地の状況も考慮しつつ、環境影響評価法に基づくものと同等の環境影響評価を実施

〇令和４年３月25日付けで、九州地方整備局において、「川辺川の流水型ダムに関する環境配慮レポート（※）」として公表され、国交大臣及び環境大臣、関係行政機関の長　（知事、市町村長）、一般から意見を聴取

〇県では、「流水型ダムに係る環境影響評価審査会」を設置し、法に基づくアセスメントと同等の調査審議を実施のうえ、関係市町村長等の意見を踏まえた、知事意見を提出（令和４年６月22日）

※環境影響評価法の計画段階配慮書に相当。事業の早期段階での環境配慮を可能とするため、位置・規模等の検討段階において、環境保全のために配慮すべき事項について検討した結果をまとめた図書



環境影響評価(環境アセスメント)

＜知事意見の特徴＞

・最新の技術を極限まで取り入れ、安全・安心を最大化し、球磨川の環境に極限まで配慮

・試験湛水等に伴う裸地化による土砂崩壊のおそれ

・調査範囲として設定している渡地点よりも下流域への影響の可能性を検討

・川辺川の流水型ダムの規模や周辺地質等に応じた調査・予測・評価

・魚類の移動をはじめ、魚類や底生動物などの生息環境への影響

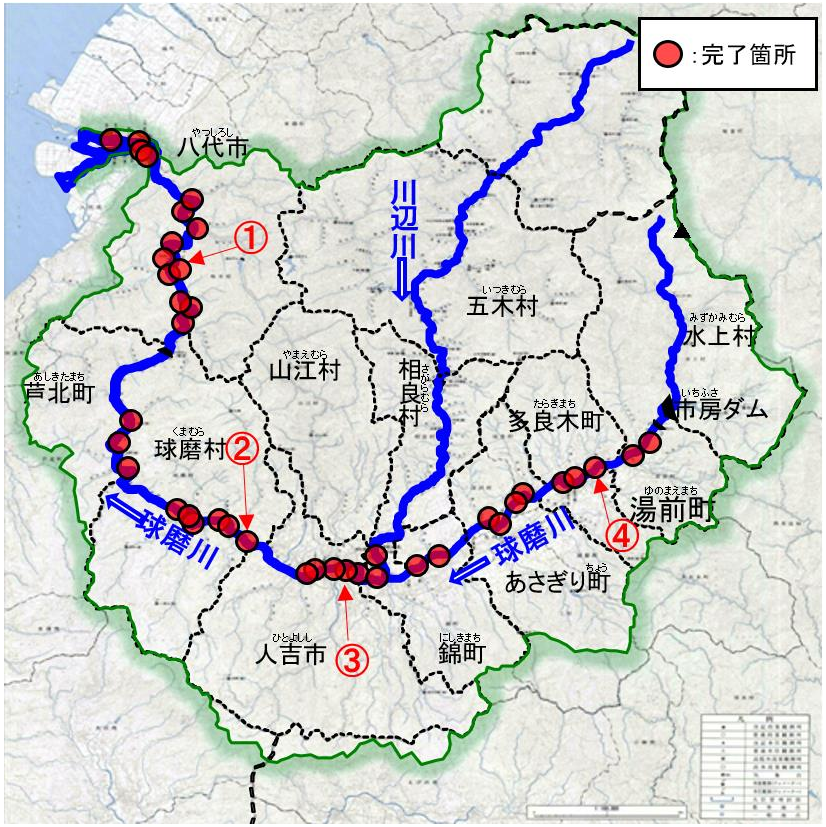
・アユ等の河川生物にとって重要な瀬淵構造や、餌となる付着藻類や水生昆虫への影響

堆積土砂の撤去など河川の緊急対策（国管理区間）

重点10項目

令和4年6月17日開催「第6回球磨川水系流域治水協議会」資料2より

○令和2年7月豪雨により、堆積したと推定した土量**約125万m³の掘削が完了**。
○更に令和4年5月末現在で**約44万m³の掘削が完了し、引き続き、河道掘削を推進していく**。



【施工前状況】

【施工後状況】

堆積土砂の撤去など河川の緊急対策(県管理区間)

重点10項目

＜発災から2年の取組みと成果＞

◆ 堆積土砂撤去・河道掘削

・県管理河川について、令和3年5月末までに、約93万㎥を撤去し、令和2年7月豪雨で堆積した土砂の撤去完了.

・更に、その後堆積した河道内の土砂について、令和4年5月末までに、約23万㎥を撤去完了

・また、市房ダムの堆積土砂については、これまでに、約26万㎥を撤去

◆河川情報の充実

・水位計15基、河川カメラ15基を増設(※)

・夜間でも河川の状況が確認できるよう、河川カメラへの照明設備追加　(※)権限代行含む

山田川（人吉市）

川辺川（相良村）

＜今後の展望と取組み＞

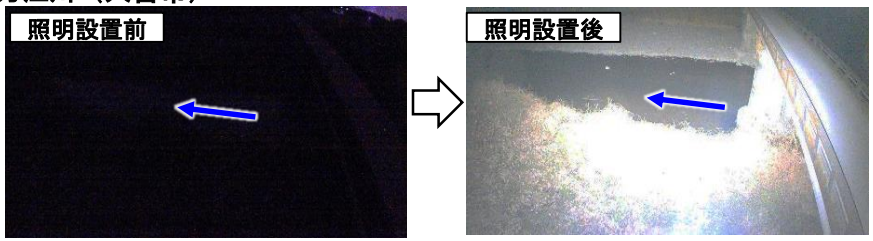
◆ 堆積土砂撤去・河道掘削

・引き続き、流域住民の声をお聞きしながら、これまで以上に、河川の流下能力の維持・向上やダムの洪水調節容量の確保を図る

◆河川情報の充実

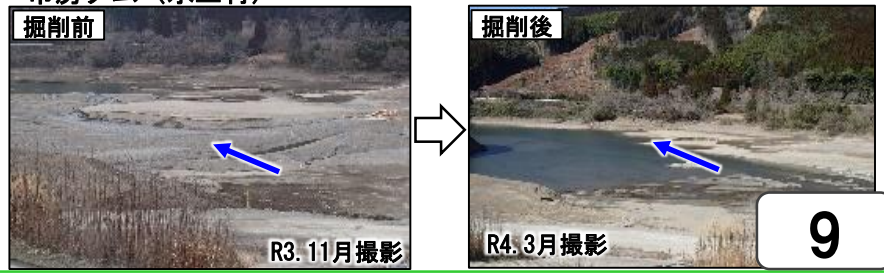
・河川カメラの計画的な増設等の検討

万江川（人吉市）



柳橋川（多良木町）

市房ダム（水上村）



被災した河川管理施設の復旧(県管理区間)

重点10項目

＜発災から2年の取組みと成果＞

・被災した全394箇所、約177億円(県管理の河川)について、現在、災害復旧事業を実施。

・工事の進捗は、令和4年5月末までに、250箇所を契約締結し、内91箇所は工事完了

＜今後の展望と取組み＞

・被災した全箇所の早期復旧を目指し、引き続き工事を推進

山田川(人吉市)における対応状況

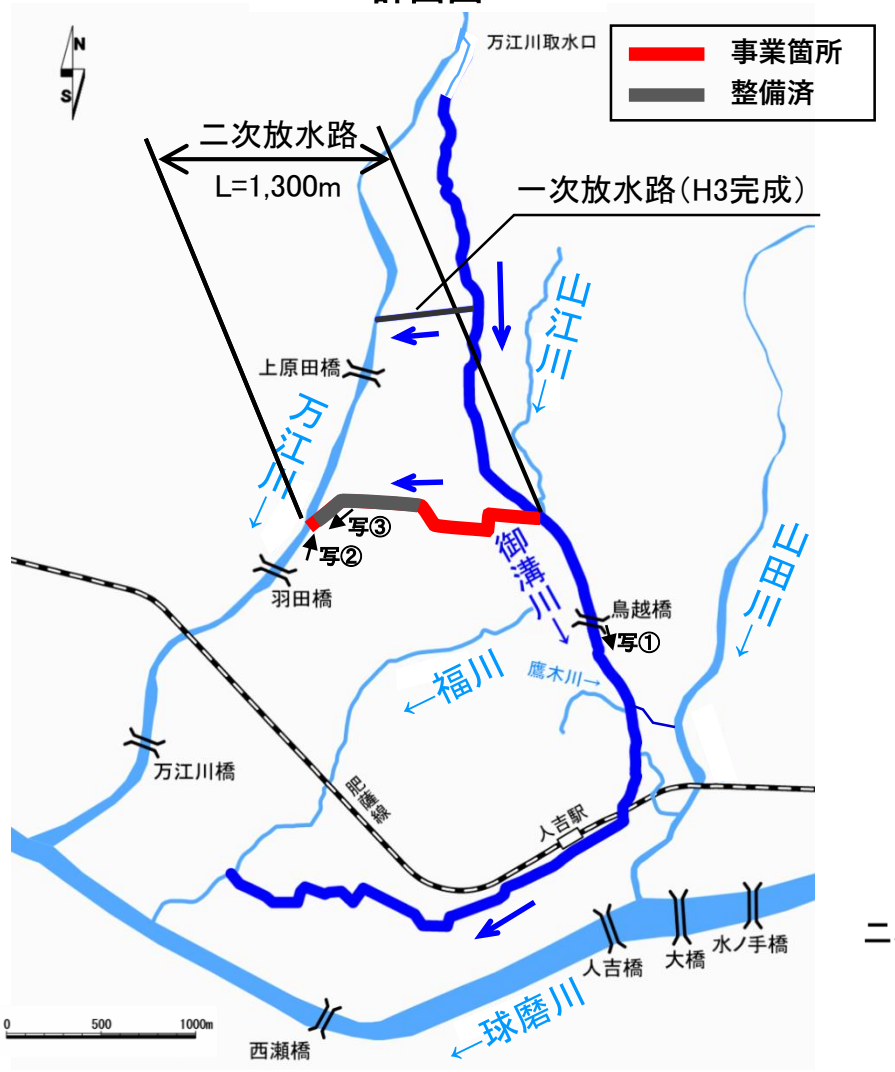
万江川(山江村)における対応状況

球磨川流域（御溝川）の整備状況（県管理区間）

令和4年6月17日開催「第6回球磨川水系流域治水協議会」資料2より

○御溝川は流下能力不足により道路冠水や家屋浸水が多発する浸水常襲地帯となっている。このため、市街地を浸水被害から守り、治水安全度の向上を図る目的で、3つの放水路を計画している。
○一次放水路は平成3年に完成。
○整備中の二次放水路は、進捗率は52%。

計画図



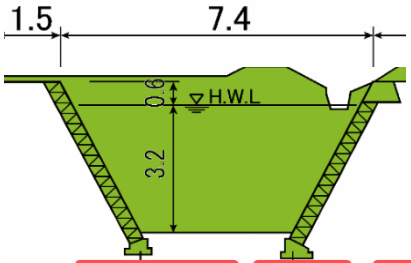
平常時

浸水時

整備後

整備後

整備断面



整備済延長（二次放水路）：
680m（52%）［R4.3末時点］

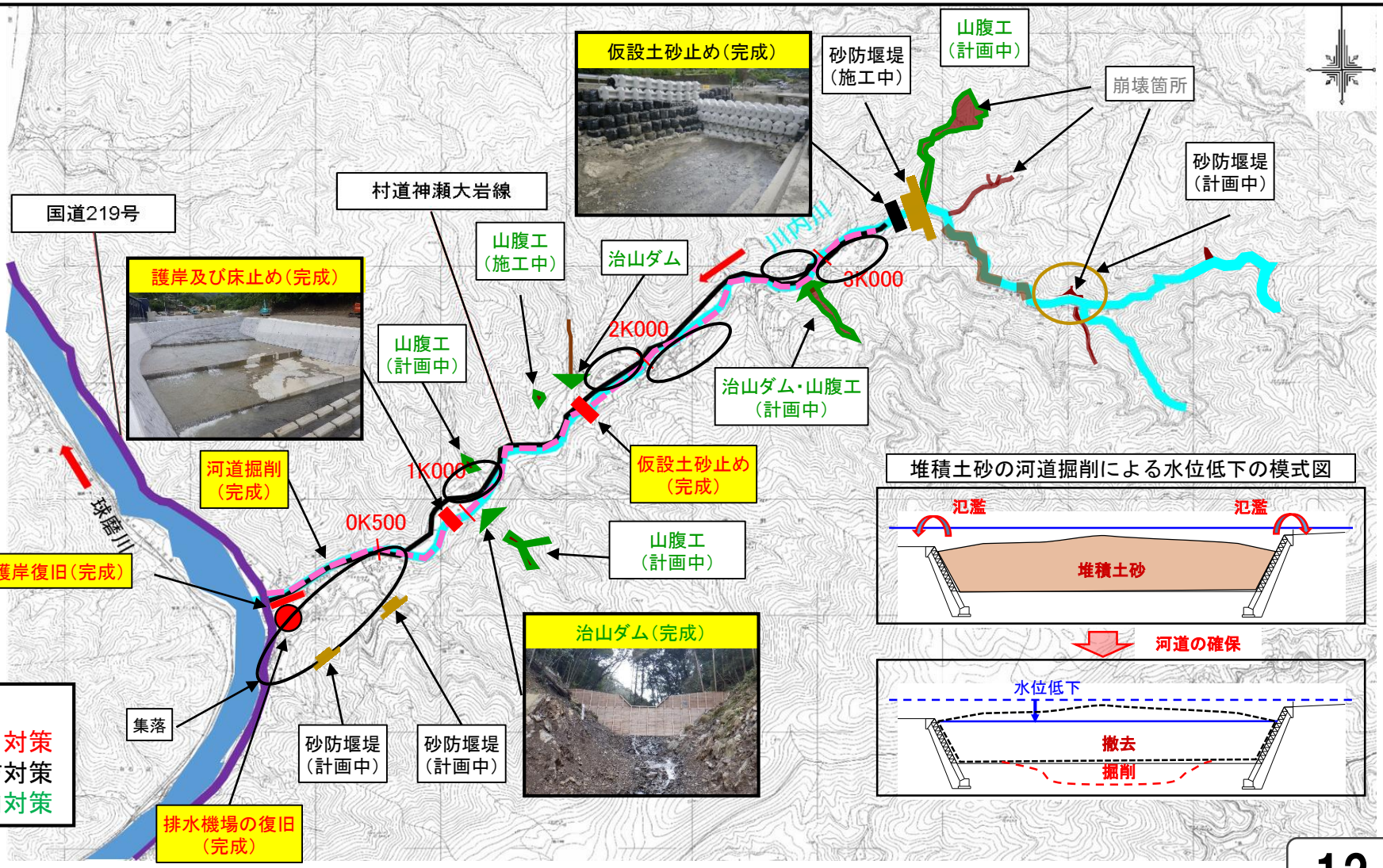
二次放水路

1 現地調査 → 2設計 → 3用地協議 → 4工事 → 完成

球磨川水系川内川　河川区域における対策

令和4年6月17日開催「第6回球磨川水系流域治水協議会」資料2より

〇河川区域の対策として、災害復旧や河道掘削を実施し、河道の流下能力を確保する。
〇集水域の対策として、主な氾濫原因である河道への土砂流入と流木に対し、砂防えん堤、治山ダムや山腹工、流木止めを実施することで、再度の河道埋塞の防止を図る。
〇河川事業・砂防事業・治山事業が連携して「流域治水」を推進。



流域治水プロジェクト（輪中堤・宅地かさ上げ）の進捗状況

令和4年6月17日開催「第6回球磨川水系流域治水協議会」資料2より引用

○輪中堤・宅地かさ上げについて、**各地区で事業説明会等を令和3年3月から順次開催し、地域との合意形成に努めている**。（3市町村　計62回開催　※5月末現在）
○現在、設計・検討を進めるとともに、用地測量等を実施中。

かさ上げ高さの表示（R4.2.5）
【球磨村神瀬地区】

用地調査の状況【芦北町白石地区】

対象地区（令和４年２月末時点）

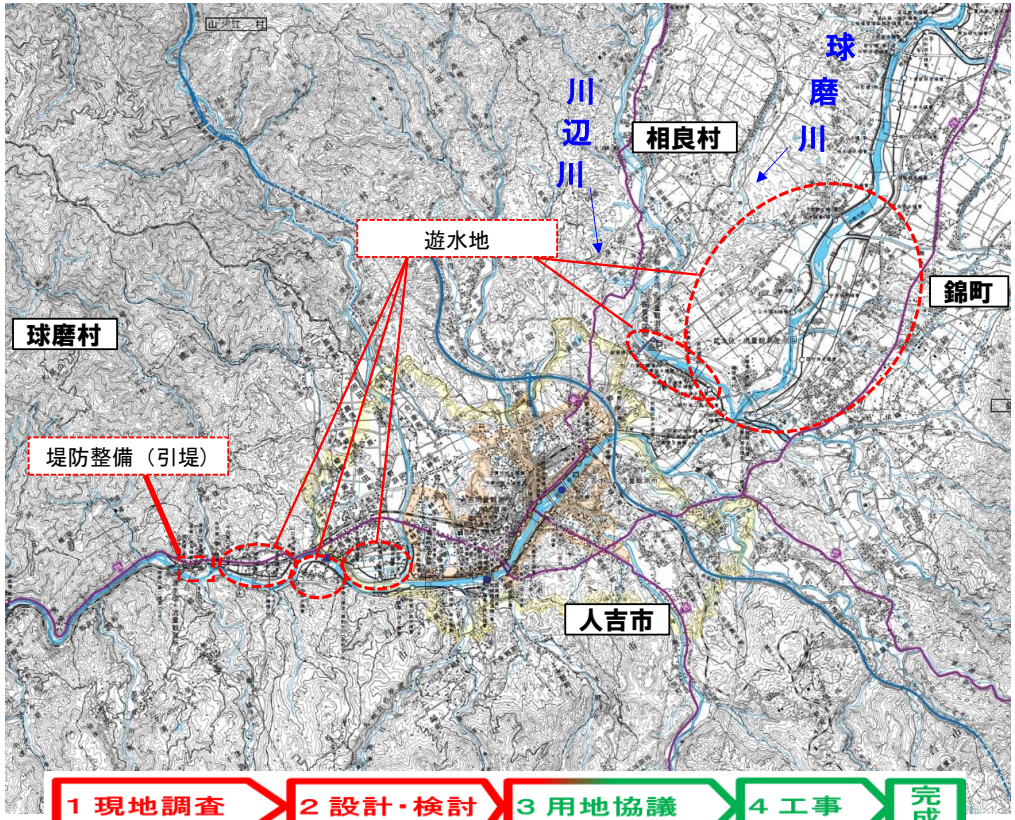
八代市	３地区	１６箇所
芦北町	１地区	５箇所
球磨村	２地区	１２箇所
計	６地区	３３箇所

流域治水プロジェクト（引堤、遊水地）の進捗状況

令和4年6月17日開催「第6回球磨川水系流域治水協議会」資料2より引用

○引堤、遊水地について、**県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会を令和3年2月から順次開催し、地域との合意形成に努めている**（4市町村計 27回開催）

○現在、設計・検討を進めるとともに、用地測量等を実施中



※図上の点線囲み範囲は測量等のおおまかな計画範囲を示す

令和4年3月～ 4月の説明会等実施状況

事業説明会(R4.3.21)
【球磨村渡地区】

事業説明会(R4.3.11)
【人吉市中神地区】

地質調査の状況【錦町】

用地調査の状況【球磨村】

治山・砂防による山の再生・強化（砂防）

重点10項目

＜発災から2年の取組みと成果＞

◆堆積土砂・流木撤去（全17箇所）
- 17箇所で撤去完了

◆砂防施設の復旧
- 計画的な進捗を図っており、令和4年5月末までに全237箇所中87箇所の工事着手、内21箇所は工事完了

◆緊急的な砂防施設の整備（全17箇所）
- 2箇所で完了
- 14箇所で工事を実施中

◆その他の砂防施設（全23箇所）
- 4箇所で工事を実施中

緊急的な砂防施設（急傾斜）整備完了（塩尾・芦北町）

＜今後の展望と取組み＞

◆堆積土砂・流木撤去
- 維持管理上、必要な土砂撤去の継続的な実施

◆砂防施設の復旧
- 残る150箇所全ての年度内工事着手及び工事推進

◆緊急的な砂防施設の整備（全17箇所）
- 残15箇所の工事推進

◆その他の砂防施設（全23箇所）
- 4箇所の工事完了、残る19箇所の早期発注、工事推進

緊急的な砂防施設整備計画図（川内川・球磨村）

万江川流域の土砂・洪水氾濫対策（砂防）

重点10項目

〇令和2年7月豪雨では、万江川流域内で土砂・洪水氾濫（※）が発生した。
〇流域住民の生活や経済に与える影響を抑制するため、**砂防施設を計画し、令和4年3月に新規事業採択された**。（都道府県として、全国でも初めて取り組む事業）
〇今後、測量・設計を実施するとともに、河川・治山事業と連携しながら事業を実施する。

背景は地理院地図を使用

位置図（万江川流域）

※土砂・洪水氾濫とは
豪雨により上流域から流出した多量の土砂が、谷出口より下流の河道に堆積することにより、洪水中に河床上昇・河道閉塞が引き起こされ、土砂と泥水の氾濫が発生する現象。

土砂・洪水氾濫の状況（山江村）

治山・砂防による山の再生・強化（治山）

重点10項目

＜発災から2年の取組みと成果＞

・土砂・流木の撤去を15箇所で完了、1箇所で実施中。
※未着手の1箇所は応急措置済み。

・緊急的な治山施設の整備は29箇所で完了、29箇所で実施中。

・その他の治山施設の整備は9箇所で実施中。

・昨年から出水期前の早期に危険性の高い箇所の山地防災パトロールを実施。本年も145箇所を点検し、差し迫った危険性は確認されなかった。
併せて、住民に防災情報の周知を行った。

土砂流木を撤去した治山ダム

山地防災パトロールと事前防災の周知

＜今後の展望と取組み＞

・引き続き、治山施設の復旧等に全力で取り組む。

・本年度から、球磨南部3地域及び五木1地域の計4地域で、国と県が川上から川下まで地域全体で土砂流出抑止対策(※)に取り組む。

●国有林（国）2地域（①あさぎり、②湯前）
●民有林（県）2地域（③錦・あさぎり・多良木・湯前、④宮園・三浦）

※④は次ページ

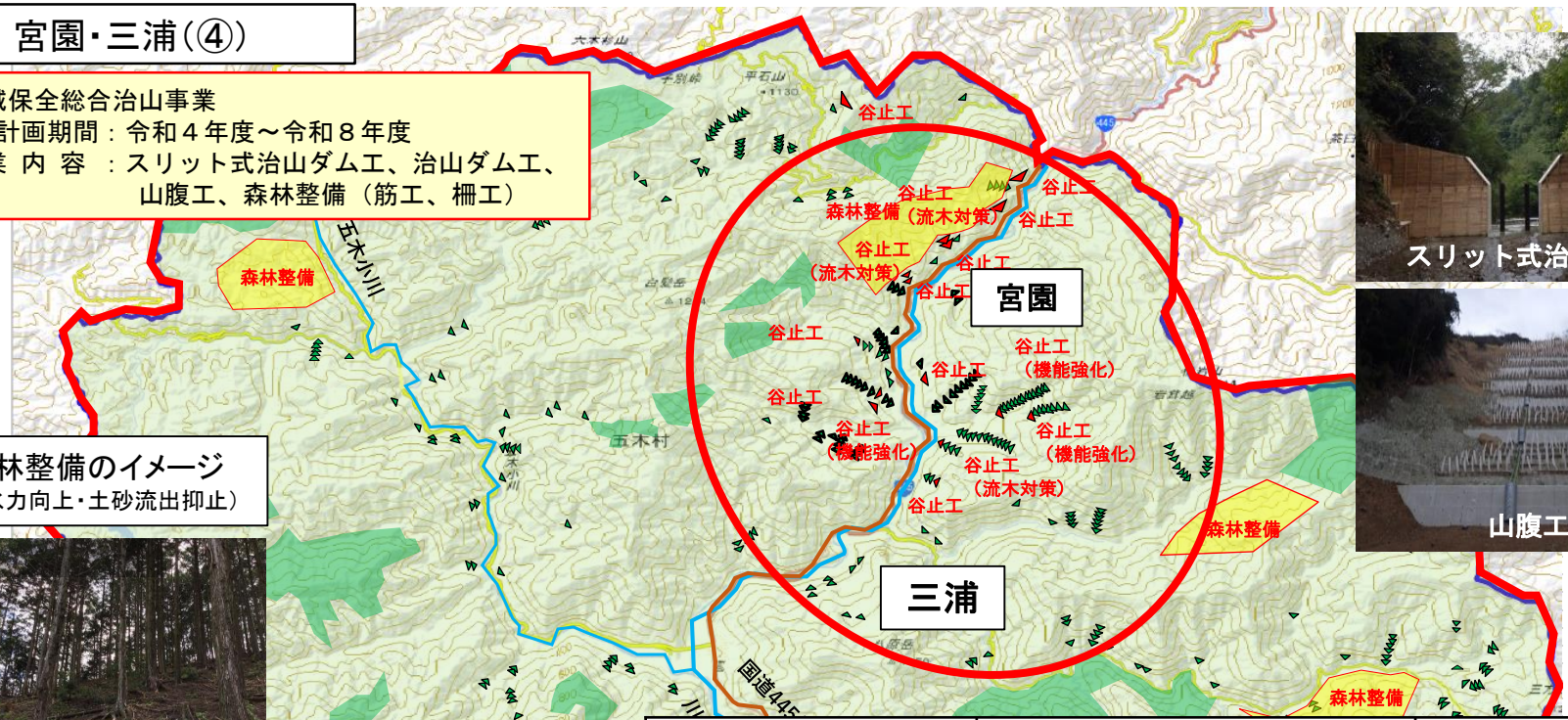
※流域保全総合治山事業
全体計画期間：令和４年度～令和８年度
事 業 内 容：流木捕捉式治山ダム工、治山ダム工、山腹工、森林整備（筋工、柵工）

治山・砂防による山の再生・強化（治山）

重点10項目

宮園・三浦（④）

※流域保全総合治山事業
全体計画期間：令和４年度～令和８年度
事 業 内 容 ：スリット式治山ダムエ、治山ダムエ、
山腹工、森林整備（筋工、柵工）



森林整備のイメージ
（保水力向上・土砂流出抑止）

計画施設

凡　例	
計画治山ダムエ（谷止工）	
既設治山ダムエ（谷止工）	
計画森林整備	

スケジュール	令和４年度 6月 9月	令和５～８年度
予備調査（森林荒廃調査）		
事業計画に係る調査		
工事実施（治山ダム工等）		
森林整備実施		

※計画箇所については、五木村の要望や令和4年度の調査結果に基づき変更し、効果的な整備を実施予定。

五木村の宮園・三浦地区を中心に、土砂流出対策や流木対策、森林整備等を実施。
治水対策等との連携により、五木村の更なる安全・安心の確保を図る。
（令和４年度～令和８年度事業実施）

“いのち”を守る防災・減災力の強化①

重点10項目

田んぼダムの取組み

＜発災から2年の取組みと成果＞

・流域7市町村において、モデル地区の水田296haで実証実験を実施。

・有識者による検証委員会を設置し、貯留効果や雨水流出量のピークカット効果、農作物への影響について評価を実施。（これまでに4回開催）

・地元土地改良区や南稜高校と連携し、田んぼの学校を開催。小中学生に対して、田んぼダムや緑の流域治水の理解醸成を図った。

＜今後の展望と取組み＞

・実証水田を改修し、より精度の高いデータ観測を行い、効果の検証と見える化を行う。

・田んぼダムの取組みをリードする人材育成に着手するとともに、下流域の住民をはじめ、県民の理解促進に取り組んでいく。

モデル地区以外での普及・拡大の推進を図る。

田んぼの学校と田んぼジュニアハイスクール

人吉東小学校児童約80名及びあさぎり中学校生徒約160名を対象に実施。取組みを通じて理解醸成を図った。

田んぼダムの説明（南稜高校生）

田植え体験

田んぼダム効果等検証委員会

・第4回人吉・球磨地域田んぼダム効果等検証委員会を開催（令和4年6月28日）。

・今後も、農家が安心して田んぼダムに取り組めるよう、有識者による評価を行っていく。

現地調査（南稜高校）

農家との意見交換会

“いのち”を守る防災・減災力の強化②

重点10項目

＜発災から２年の取組みと成果・令和４年度の取組み＞

戸別受信機等の設置

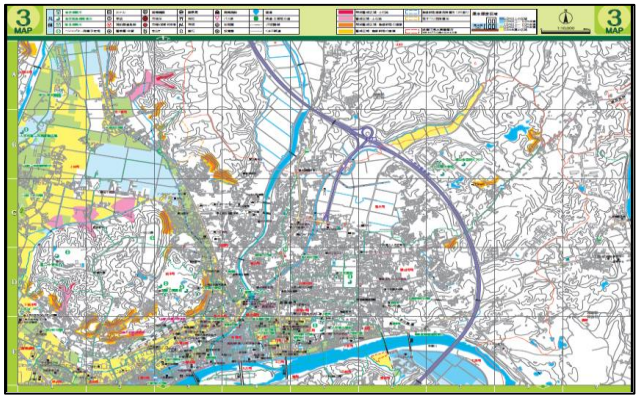
戸別受信機

防災ラジオ（戸別受信機）

・希望する全世帯の設置完了。
※八代市は、携帯通信網を活用し、一斉に配信するシステムの運用を開始。
※人吉市は、令和4年5月から事業所にも配布開始。

想定最大規模（L2）に対応したハザードマップの作成

・水位周知河川のL2対応ハザードマップの全市町村での作成・周知済。
※その他河川のL2対応ハザードマップへ随時更新。



防災マップ（人吉市）

マイタイムラインの普及

マイタイムライン
専用WEBサイト

避難訓練（人吉市）

・専用WEBサイトを開設（R3.9）。
・作成チラシの全世帯配布や専用WEBサイトでの公開、市町村出前講座、学校での防災授業等で活用する作成支援動画を制作。
・学校等と連携し、子どもから家庭への浸透を図るために、マイタイムラインを活用した防災教育を支援。

“いのち”を守る防災・減災力の強化③

重点10項目

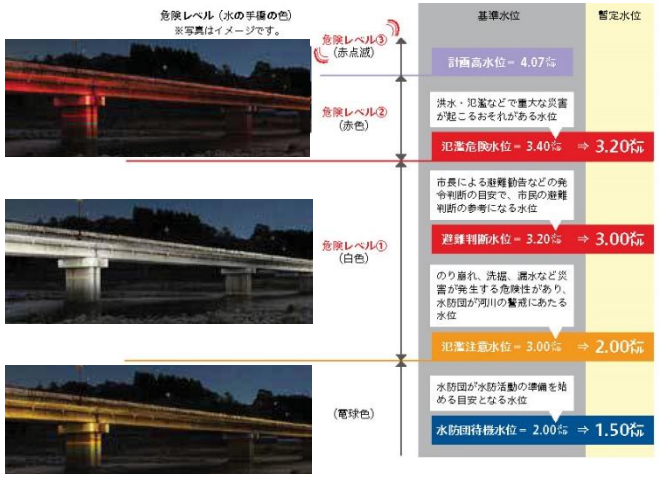
リアルハザードマップの設置

リアルハザードマップ（芦北町）

・これまでに13市町村74カ所に想定浸水深や避難場所等の標識を設置。
・整備を促進するため、優良事例やノウハウ等をまとめ、ホームページ等で周知を図る。

ライティング防災アラートシステム（人吉市）

・災害時の逃げ遅れゼロを目指し、色彩変化により状況を視覚的アプローチで伝える「ライティング防災アラートシステム」を導入。
・球磨川の氾濫危険度を照明色の変化で視覚的にお知らせし、早めの避難行動を促す。



「水の手橋」の色と危険レベル

広報等の取組み

県からのたより ６月号

・テレビ、ラジオ、県からのたより、SNS等を活用した広報に加え、令和3年度から新たに県公式 YouTubeチャンネルを開設。

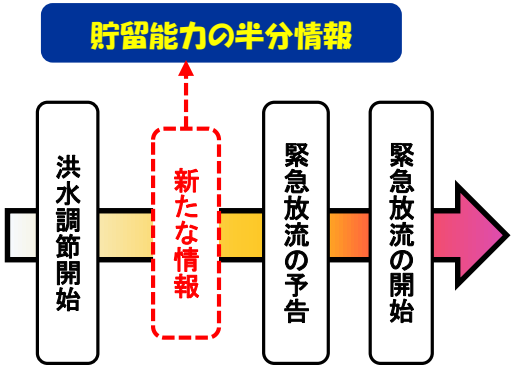
“いのち”を守る防災・減災力の強化④

重点10項目

市房ダムの新たな情報の発信

・市房ダムでは、住民の円滑な避難を支援することを目的に、異常洪水時防災操作（緊急放流）の予告よりも早い段階で、新たに「貯留能力の半分情報」を発信する運用を開始（R4.6～）。

市房ダム（水上村）



市房ダムから発信する情報

危機感共有と命を守る災害報道連携会議

・大雨が予想された場合に臨時のワーキンググループを開催し、防災アドバイザー等から雨に関する情報や、防災対応への助言があり、早期の避難情報の発令や住民の周知につながった。
・会議で発案された早期避難を呼びかけるTVスポットを在熊TV5局が制作し、令和4年5月2日から放送開始。

早期避難を呼びかけるTVスポット

水災補償を付帯した火災保険の加入促進

・水災補償を付帯した火災保険の保険料の助成を開始（球磨村（R3.5）。
・八代市、芦北町等においてR4年度から助成制度を開始。

球磨村ホームページ

すまい・コミュニティの創造

本格的な住まいの再建

重点10項目

○ 仮設住宅の入居者は令和4年6月27日時点で1,195世帯（2,618人）、令和3年1月末をピークに減少。
○「再建場所をまだ決めていない世帯」が56%（令和3年5月）→2%（令和4年5月）に大きく減少。
○ **令和6年3月には、すべての被災者の住まいの再建の目処が立つよう**、市町村や地域支え合いセンター等と連携し、被災者一人一人の意向に寄り添った支援を進める。

＜発災から2年の取組みと成果＞

・恒久的な住まいの再建意向、日常生活での課題等について、意向調査を実施。

・意向調査結果を踏まえ、市町村及び地域支え合いセンターと、各被災世帯の状況について、情報共有する定期報告会を開始し、住まいの再建を加速化。

◆住まいの再建意向調査◆

○再建場所をまだ決めていない世帯

56%（R3.5月） → **2%（R4.5月）**

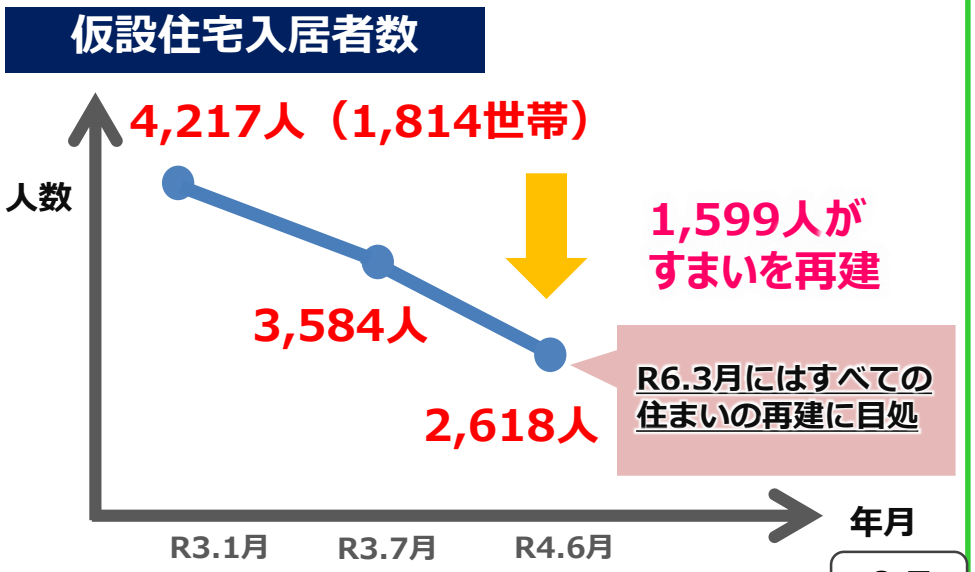
仮設住宅訪問（球磨村）

仮設住宅入居者交流会（八代市）

＜今後の展望と取組み＞

・**「再建場所をまだ決めていない世帯」を含め、再建の目処が立っていない世帯に対しては、福祉関係機関と共に個別ケース会議等を実施**。いち早い課題解決を目指し、重点支援を行っていく。

・**令和6年3月には、すべての被災者の住まいの再建の目処が立つよう、寄り添った支援を進める**。



土木　本格的な住まいの再建（災害公営住宅等）

重点10項目

＜発災から2年の取組みと成果＞

◆災害公営住宅等の整備

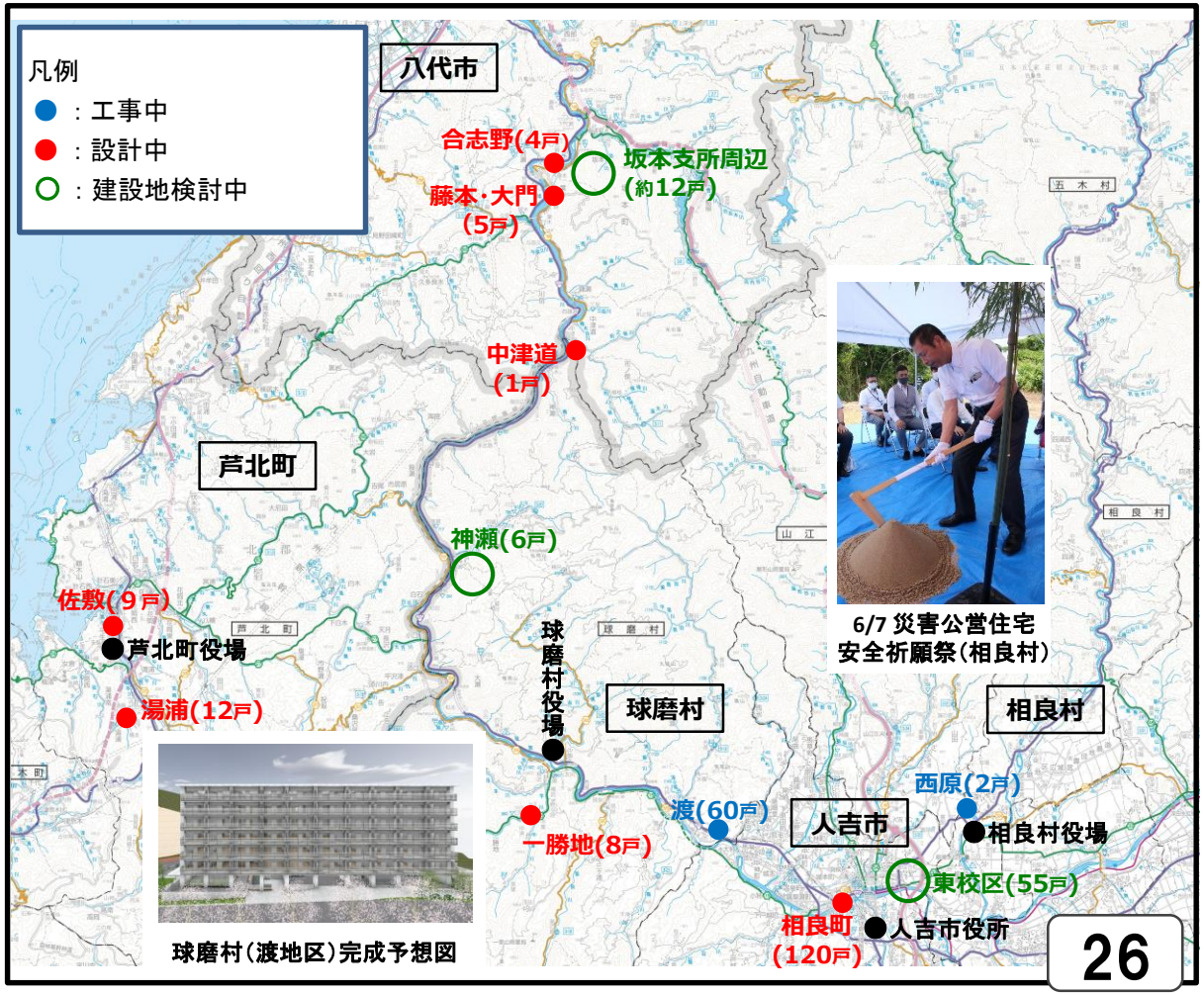
・12地区294戸で整備
・2地区62戸で工事中
・7地区159戸で設計中
・3地区73戸で建設地検討中

工事中	地区	戸数	入居時期
相良村	西原	2戸	令和4年12月
球磨村	渡	60戸	令和5年7月
2村	2地区	62戸	
設計中	**地区**	**戸数**	**入居時期**
八代市	藤本・大門 合志野 中津道	5戸 4戸 1戸	令和5年9月 令和5年4月 令和5年7月
人吉市	相良町	120戸	令和6年1月
芦北町	佐敷 湯浦	9戸 12戸	令和5年7月 令和5年7月
球磨村	一勝地	8戸	令和5年5月
4市町村	7地区	159戸	
検討中	**地区**	**戸数**	**入居時期**
八代市	坂本支所	12戸	令和7年度中
人吉市	東校区	55戸	令和6年1月
球磨村	神瀬	6戸	令和5年7月
3市村	3地区	73戸	
5市町村	**12地区**	**294戸**	

＜今後の展望と取組み＞

◆災害公営住宅等の整備

・災害公営住宅の早期完成・入居開始（相良村・令和4年12月予定）
・市町村支援（設計工事内容の協議・提案、補助金申請指導等）を引き続き実施



災害廃棄物の処理

重点10項目

◆ 令和4年3月末時点で災害廃棄物処理は概ね完了。

○ 公費解体　　完了率：99．9%

被災者の要望を受け、R4.4月以降も3市町村で追加受付・解体工事を実施中。
［ R4．6月末現在 ］ 未完了　10件 （ 解体完了 ： 20市町村/23市町村 ）

○ 仮置場の片付け　完了率：100%

すべての仮置場で災害廃棄物の搬出、原形復旧が完了。

○ 損壊家屋等の解体・撤去

（球磨村茶屋地区）

（人吉市下青井町）

≪公費解体の進捗状況の推移≫

	申請件数	完了件数	完了率
R3.6月末	2,442	1,201	49.2%
12月末	2,425	2,417	99.7%
R4.3月末	2,426	2,425	99.9%

≪災害廃棄物の処理状況(R4.3月末)≫

	処理量	発災時の推計量
災害廃棄物処理量	323.6 千t	340.9 千t
リサイクル量	262.3 千t	—
リサイクル率	81.0%	目標：70%以上

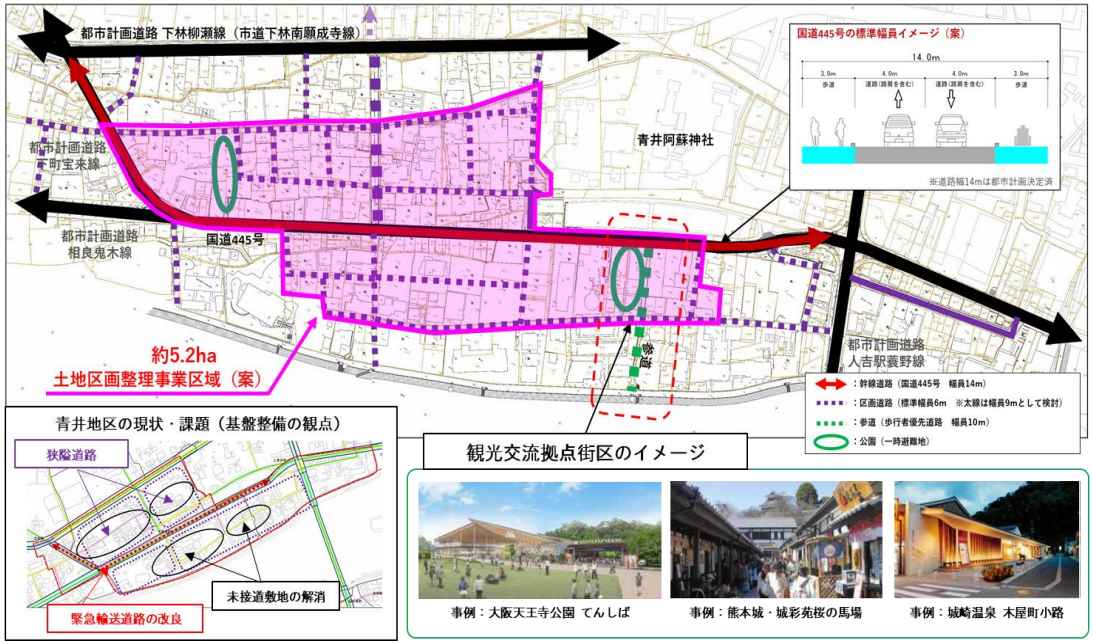
（※）災害廃棄物に土砂を含めた総処理量は373.0千トン
（発災時の推計量 472.1千トン）

被災地のまちづくりと集落再生

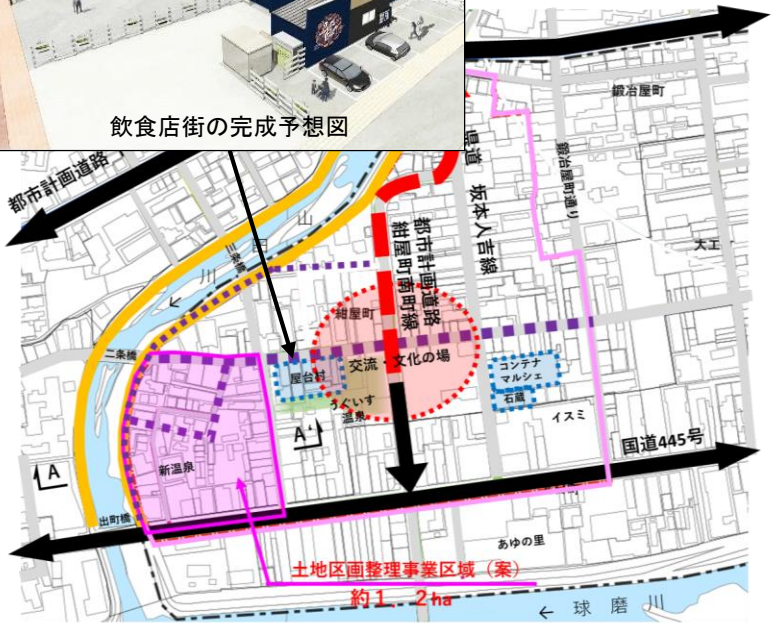
人吉市中心市街地周辺の新たなまちづくり

○　中心市街地周辺では、本年3月、青井被災市街地復興土地区画整理事業（約5.2ha）の都市計画を決定。5月21日には、用地の先行買収に関する説明会を開催。5月30日に青井地区の道路・公園等の公共施設配置、賑わい創出に関する取組等について市に提言することを目的として、青井復興まちづくり推進協議会が設立。

○　6月30日には、紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業（約1.2ha）の都市計画が決定。加えて、民間事業者が主体となり、新たな飲食店街「紺屋小町」の整備が決定（R4.12完成予定）



青井地区における復興事業概要



中心市街地地区における復興事業概要

球磨川中流域における集落再生に向けた取組み

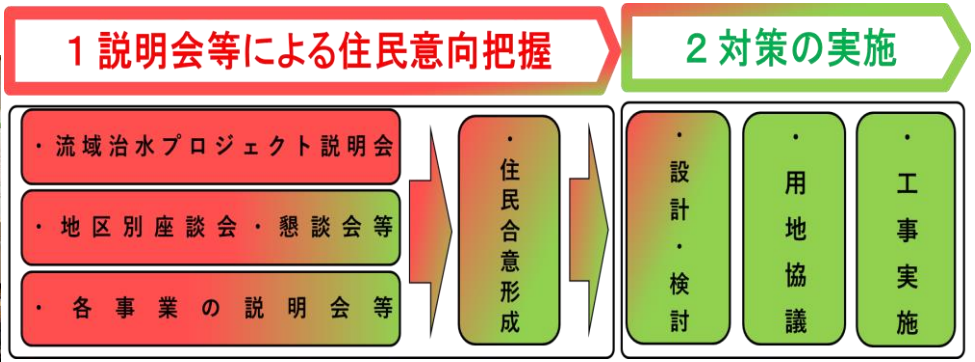
○ 八代市坂本町、芦北町、球磨村において、**国・県・市町村が連携して、輪中堤・宅地かさ上げに関する説明会等を開催**（計65回開催　※5月末現在）。

○ **今後、地区ごとの整備方針を決定した個所から、順次、設計、用地協議等に着手**。

芦北町

＜説明会・座談会等＞

球磨村



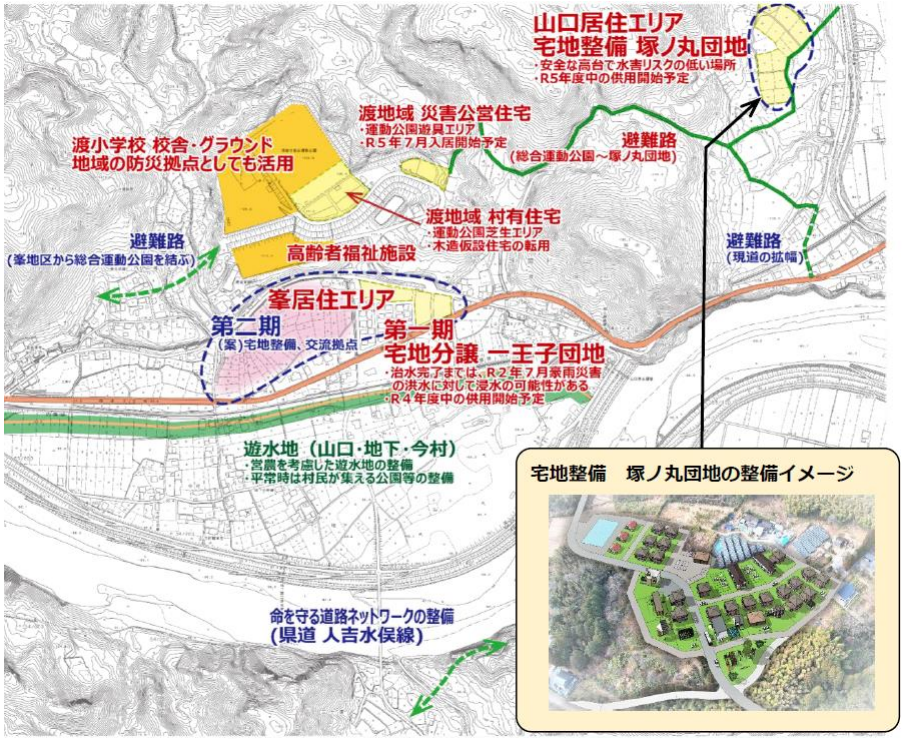
八代市坂本町

＜現地でかさ上げ高を確認＞

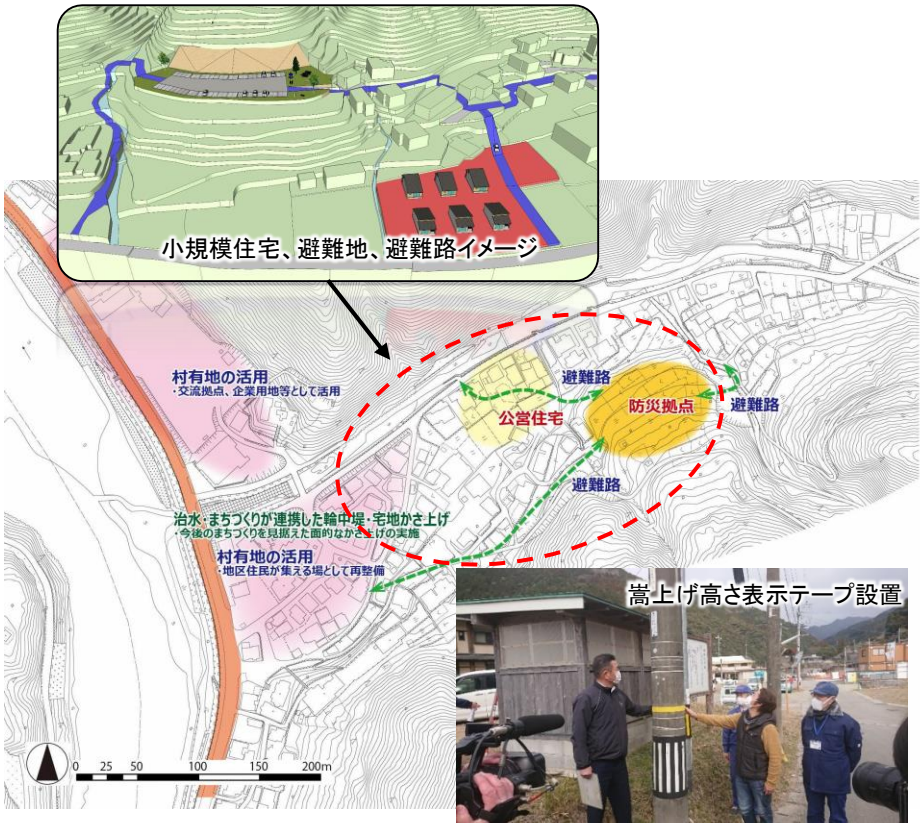
＜かさ上げ高表示テープの設置＞

球磨村の集落再生に向けた取組み

○ 渡地区においては、**県の受託施行により高台への宅地造成事業を開始。**
○ 神瀬地区においては、一日も早い生活再建に向け、国、県、村、住民が協働で取り組んだ結果、**地区全体を面的にかさ上げする方針を決定。**
○ 小規模住宅、避難地・避難路の整備について、住民への説明会を実施するなど、**地域の復興まちづくりを総合的に推進。**



渡地区の復興まちづくりイメージ



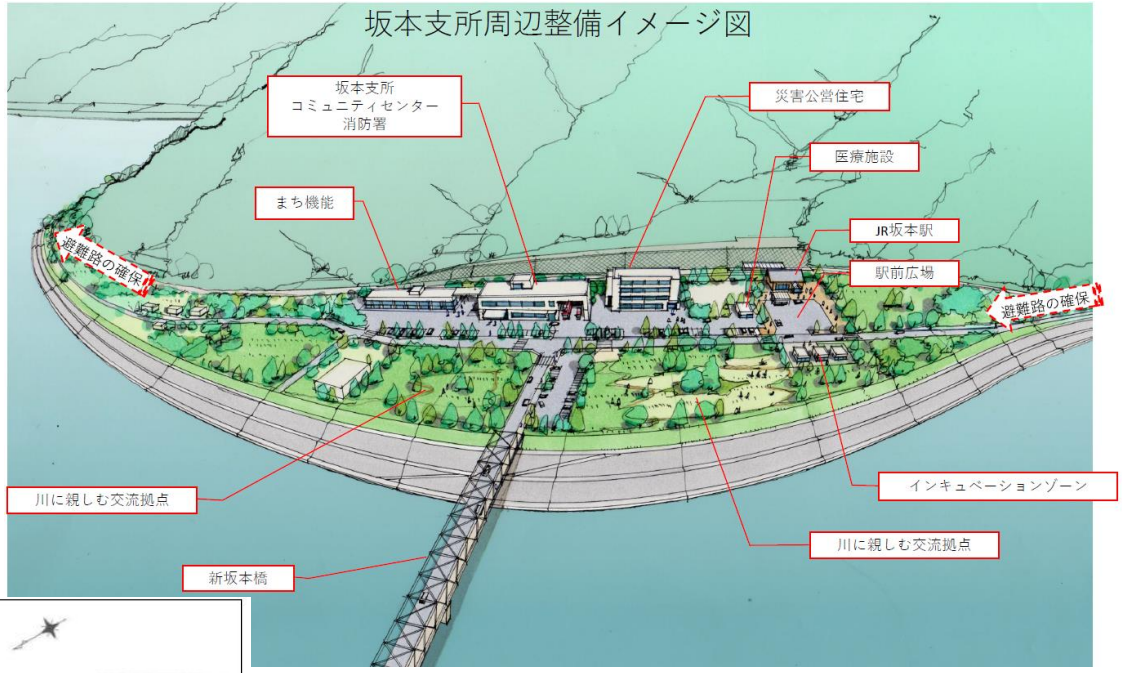
神瀬地区の復興まちづくりイメージ

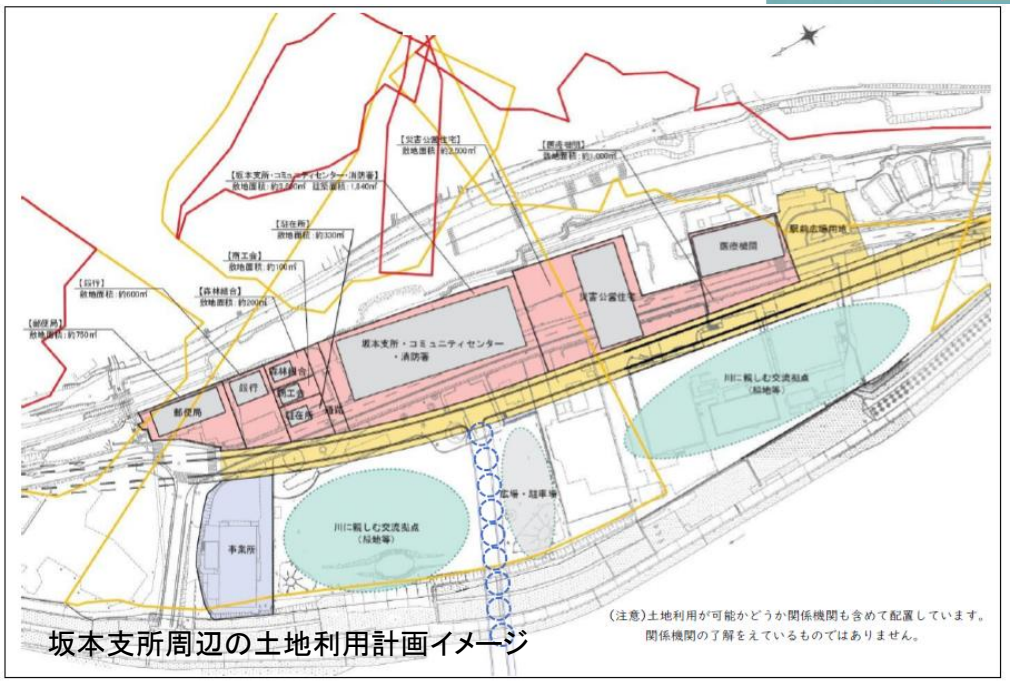
八代市坂本支所の再建及び支所周辺まちづくりの推進

○ 八代市では、関係者や学識者懇談会の意見を踏まえ、令和4年1月に坂本支所の再建位置を決定

○ 今後、詳細な土地利用計画や支所等の建物の配置計画を策定していく予定

○ また、宅地かさ上げや県道中津道八代線の整備、かわまちづくりと連動したまちづくりを推進





坂本支所周辺の土地利用計画イメージ

坂本町まちづくり計画説明会（八代市）

復興まちづくりに向けた取組み

○ 相良村では、安全安心な居住確保のため、**被災者等へ分譲するための宅地整備**に着手。
また、**復興むらづくり計画に位置付けた避難地・避難路整備の具体的検討**を開始。

○ 山江村では、指定避難所がない**万江地区において、避難所整備**に着手。

相良村

＜宅地のイメージ＞

区画数　:17区画（予定）
完成時期:R4年度末

山江村

＜指定避難所の整備箇所＞

既存施設の改修により避難所としての機能を確保（R4年度完了予定）

＜避難地・避難路のイメージ＞

● 避難地
― 避難路

重点地区から順次整備予定
（十島・新村、中央、永江、平原）

なりわい（生業）・産業の再生と創出

生業の再建と新たな産業の創出

重点10項目

＜発災から2年の取組みと成果＞

【事業再建支援】

- なりわい再建支援補助金による復旧支援
  （R4.6.15時点）※26件の差は、申請取下げ（保険金による復旧等のため）によるもの

補助金申請	補助金の交付決定	復旧完了
526件	500件	379件

HASSENBAにおける復旧

スーパーマーケット イスミの復旧

＜今後の展望と取組み＞

- すべての被災事業者の事業再建まで支援
  （公共事業の完了を待つなど、左記補助金に申請できていない事業者の再建完了まで支援を継続）

- 球磨焼酎をはじめとする県南の醸造食品関連企業に対し、蔵付き微生物の分離収集・解析・保管等により、商品の再生や開発を支援

被災した企業の蔵付き微生物の回復支援

製造再開した酒造の様子

生業の再建と新たな産業の創出

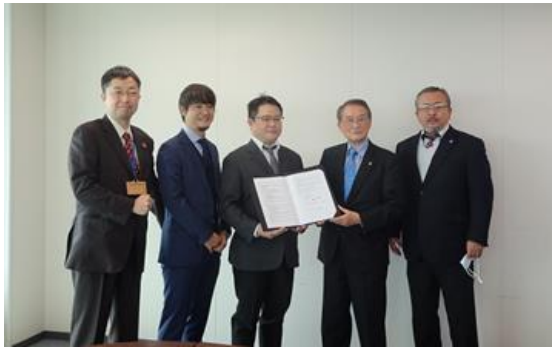
重点10項目

＜発災から2年の取組みと成果＞

【新たな産業の創出】 ※R4.7.4時点

- サテライトオフィスの設置等による**産業の創出13件**
- 立地促進補助金「球磨川流域復興枠」の**立地協定及び適用事業所の認定8件**

投資額計113億円
新規雇用286人
※立地協定及び適用事業所の認定時の予定



(株)ヒトイロとの協定（芦北町）

(株)SUPER MARKIT他2社との協定（八代市）

県内初のコリビング施設の開所（左記企業入居）

＜今後の展望と取組み＞

・サテライトオフィスの設置等による産業の創出

・立地促進補助金「球磨川流域復興枠」による企業誘致
（今後、新たな産業創出に向けて全庁的な支援体制の強化や雇用確保対策にも取り組む。）

・「地域共生型再エネ施設」の導入推進に向けて、陸上風力発電や太陽光発電について、自然環境・景観・防災面に配慮したゾーニングを実施

R4.6.20に開催された第1回陸上風力立地ゾーニング協議会の様子

農林水産基盤の復旧

重点10項目

＜発災から2年の取組みと成果＞

・営農用機械・施設の復旧について、3，734件を支援し、資材調達待ち等の5件を除き完了。

・林水産施設の復旧7件が完了。

・農林業者による応急復旧・自力復旧693件が完了。

・県及び市町村が実施する農地・農業用施設及び林道の復旧工事381箇所完了、344箇所実施中。（5月末時点）

＜今後の展望と取組み＞

・農地・農業用施設や林道の本格的な復旧工事については、国や市町村と連携し、引き続き全力で取り組む。

・これらの工事は、主に市町村が発注の主体となることから、農業土木や林務の技術職員による支援を継続。

農業用倉庫の復旧（芦北町）

災害復旧工事に係る市町村への支援状況

・令和2年7月以降、6市町村に対し、農業土木技術職員及び林務技術職員　**延べ203名を応援派遣**。

・なお、令和3年度・4年度は、広域本部等に配置した技術職員を中心に、以下の支援を実施。
（農地・農業用施設）
芦北町、あさぎり町、球磨村の5地区の災害復旧事業を支援。
（林道）県南地域13市町村における災害復旧事業を支援。
※各職員が業務の一部として支援。

農地復旧による営農再開（芦北町）

林道災害復旧に係る
国及び市町村との意見交換

球磨川流域CO2削減住宅補助

○球磨川流域地域における一定基準以上である断熱仕様の住宅リフォーム等への補助を実施

高断熱住宅のメリット

高断熱住宅※の普及による
ゼロカーボンの推進

両立

球磨川流域地域の
復旧・復興

※冷暖房エネルギー消費量の約35%削減

補助金の概要

1　補助対象
球磨川流域地域（13市町村）における、
高断熱窓・ガラス等を用いた住宅の
リフォーム、被災住宅の再建

2　補助率・額
対象建材費の1/3　上限30万円

（参考）令和3年度交付決定件数

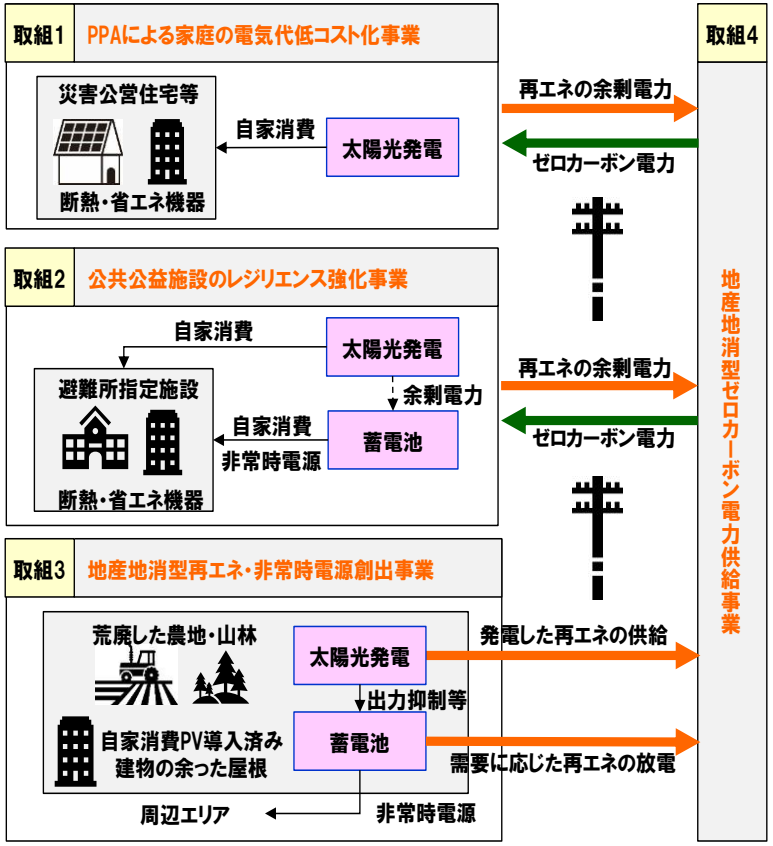
市町村	件数	市町村	件数
八代市	151	水上村	2
人吉市	86	相良村	6
芦北町	25	五木村	1
津奈木町	5	山江村	3
錦町	21	球磨村	5
多良木町	14	あさぎり町	18
湯前町	6	合　計	343

脱炭素先行地域の指定（球磨村）

○　環境省は、「脱炭素先行地域」の第一弾として、球磨村を含む19道府県の26地域を選定。（令和4年4月）
○　球磨川流域では、八代市、人吉市、あさぎり町、五木村も「2050年CO2排出実質ゼロ」を目指す『ゼロカーボン宣言』を実施。

脱炭素先行地域 認定証授与式（令和4年6月1日）

球磨村脱炭素先行地域の取組み



地域資源を生かした再生可能エネルギーの導入推進

球磨川流域における新規小水力発電所の開発可能性調査

＜発災から2年の取組みと成果＞

- 令和3年度、机上調査及び過去に調査した地点の再評価により、候補地点として、5市町村12か所を抽出
- 取水設備としての砂防堰堤の活用を検討

（有識者参加の砂防施設を活用した小水力発電に係る勉強会への出席等）

＜今後の展望と取組み＞

- 令和4年度は、現地調査等(砂防堰堤の活用も含む)を実施し、関係部局や有識者の意見を踏まえて有望地点を絞り込む
- 有望地点について、令和5～6年度に流量調査･概略設計を行い、更なる絞り込みにより令和6年度の計画地点選定を見込む

【候補地点】

市町村	地点数	市町村	地点数
八代市(泉町)	7か所	水上村	2か所
人吉市	1か所	山江村	1か所
湯前町	1か所	合計	12か所

【砂防堰堤の活用例】

菊鹿発電所取水設備

【今後のスケジュール】

年度	取組内容
R3 ～ R4	可能性調査 （机上調査･現地調査 ･概略検討）
R5 ～ R6	流量調査･概略設計 ⇒計画地点選定

新たな再生可能エネルギーの研究

＜発災から2年の取組みと成果＞

- 局内PTにおいて、地域資源の活用について情報収集及び課題整理を実施

＜今後の展望と取組み＞

- 庁内関係課や関連事業者との意見交換等を実施し、地域資源を活用した再生可能エネルギー の可能性について研究を進める
- 市町村や地域団体が取り組む小水力発電施設整備等への技術支援を実施

熊本県企業局
水の恵みを地域の力に

電気事業等からの収益の一部を地域に還元

復旧・復興プラン関連事業等への支援（一般会計への繰出金の充当）

令和3年度	令和4年度
事業名（充当額）	事業名（充当予定額）
●高等学校等通学支援事業 （285百万円）	●高等学校等通学支援事業 （151百万円）
●単県ダム堆砂排除事業 （51百万円）	●単県ダム堆砂排除事業 （100百万円）
●球磨川流域ゼロカーボン先進地創出事業 （10百万円）	●球磨川流域ゼロカーボン先進地創出事業 （20百万円）
●くまもと林業大学校人財づくり事業 （47百万円）	●地域共生型再エネ導入推進事業 （8百万円）
●球磨川流域水産資源回復事業 （5百万円）	
合計 398百万円	合計 279百万円

高等学校等通学支援事業

単県ダム堆砂排除事業

ゼロカーボン先進地創出事業

水産資源回復事業

災害に強い
社会インフラ整備と
安心して学べる拠点づくり

国道219号をはじめとした道路・橋梁の創造的復興

重点10項目

＜発災から2年の取組みと成果＞

◆集落アクセス

・令和3年7月末までに166集落へのアクセス道路の応急復旧工事完了

◆国道219号および対岸道路（国の直轄代行）

・国道219号令和3年7月末から大野大橋から人吉方面の一般車両通行可能

・令和4年3月に国道219号等の道路復旧方針を公表

◆橋梁（国の直轄代行）

・流失した10橋のうち、鎌瀬橋など4橋の仮橋が令和3年5月末までに完成

・令和3年12月に、相良橋を除く9橋の橋梁の復旧位置及び橋梁形式が決定

＜今後の展望と取組み＞

◆集落アクセス

・本復旧工事の推進

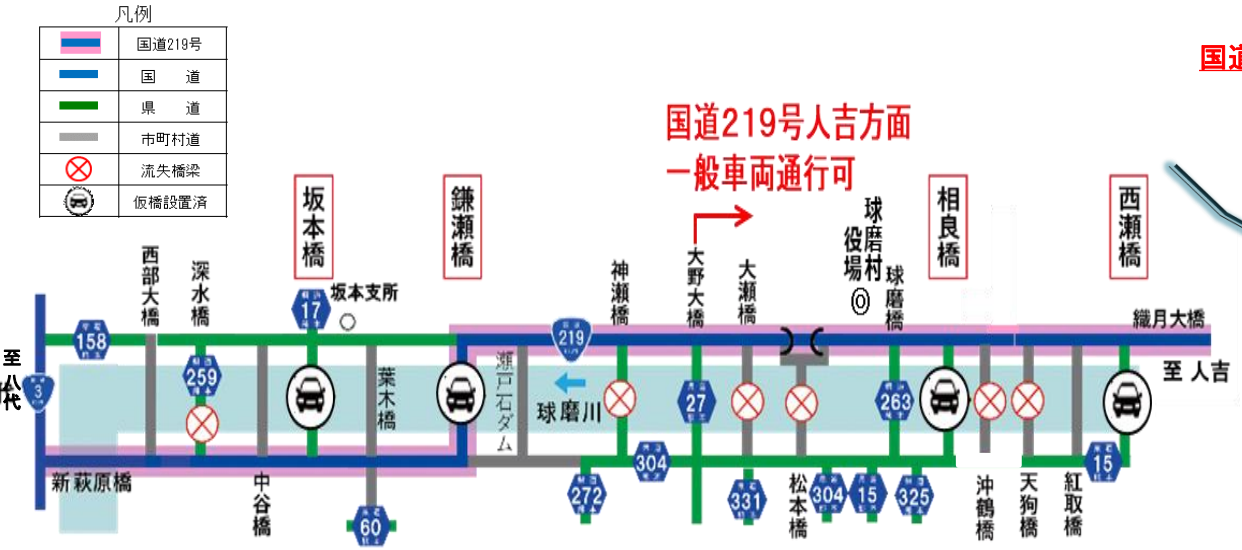
◆国道219号および対岸道路（国の直轄代行）

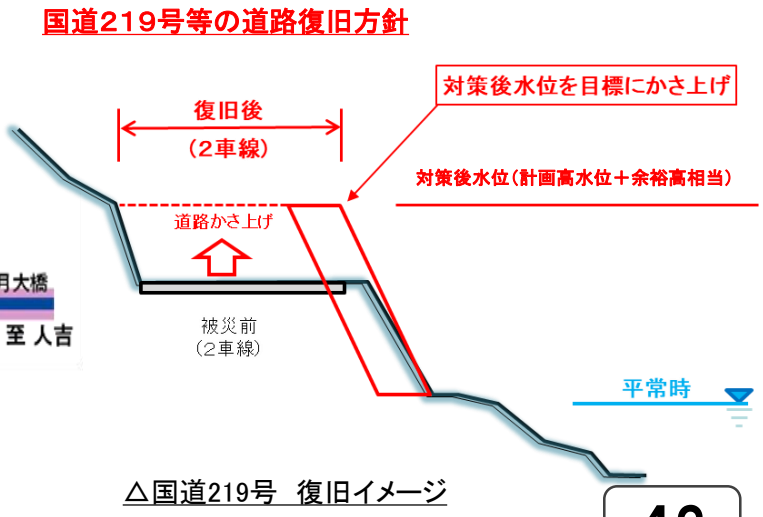
・道路復旧方針に基づき避難計画やまちづくり計画等を踏まえ、国・県・市町村が連携して道路護岸の復旧や嵩上げなど本復旧工事を推進

◆橋梁（国の直轄代行）

・県管理橋梁：坂本橋、鎌瀬橋、西瀬橋
村管理橋梁：大瀬橋、松本橋、沖鶴橋
R4年度本復旧工事の推進

・その他4橋：本復旧工事に向けた取組みの推進

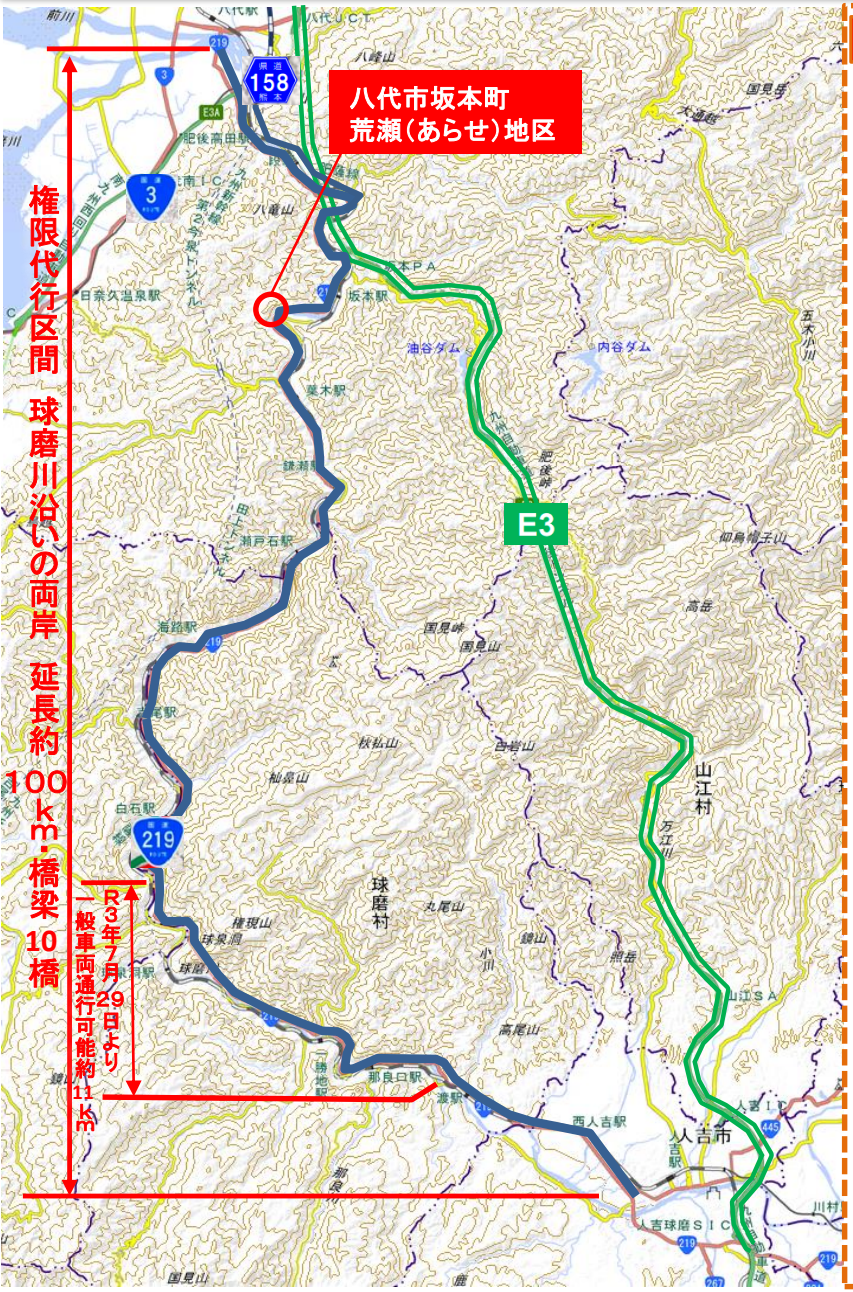




△国道219号　復旧イメージ

国道219号をはじめとした道路・橋梁の創造的復興

重点10項目



●国道219号（八代市坂本町・荒瀬地区） 道路（護岸）復旧状況

国道219号をはじめとした道路・橋梁の創造的復興

重点10項目

●国道219号（球磨村・神瀬地区） 道路かさ上げ状況

国道219号をはじめとした道路・橋梁の創造的復興

重点10項目

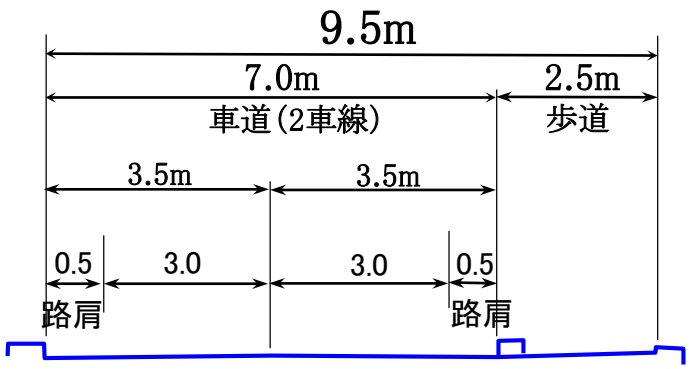
●国道219号（球磨村・大瀬地区） 道路復旧状況

国道219号をはじめとした道路・橋梁の創造的復興

重点10項目

●県道坂本人吉線　坂本橋の復旧状況

完成イメージ



鋼2径間連続トラス橋

※色彩等については今後、関係者と協議の上決定する。

出典：第4回球磨川橋梁復旧技術検討会

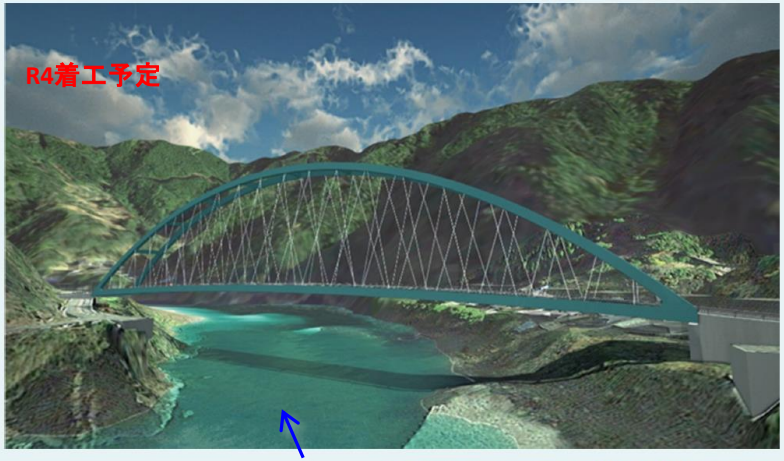
国道219号をはじめとした道路・橋梁の創造的復興

重点10項目

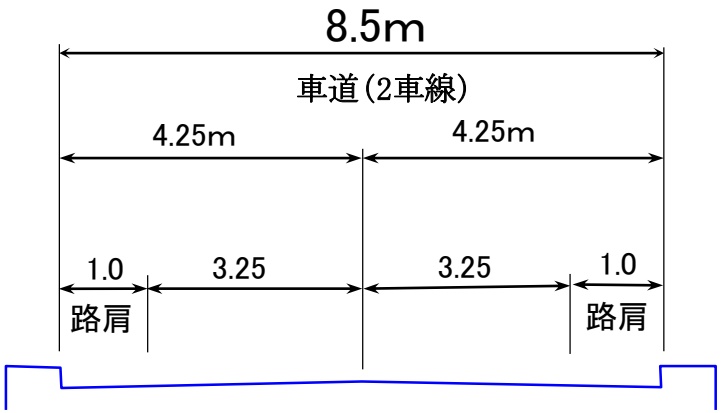
●国道219号　鎌瀬橋の復旧状況

完成イメージ

鋼単純アーチ橋（ニールセンローゼ桁）



※色彩等については今後、関係者と協議の上決定する。



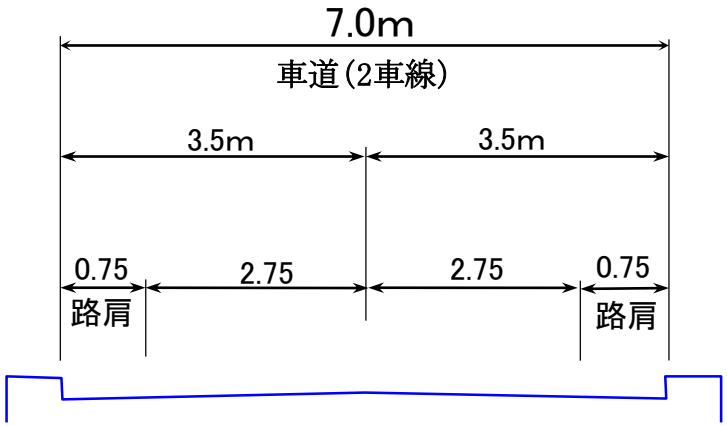
出典：第4回球磨川橋梁復旧技術検討会

国道219号をはじめとした道路・橋梁の創造的復興

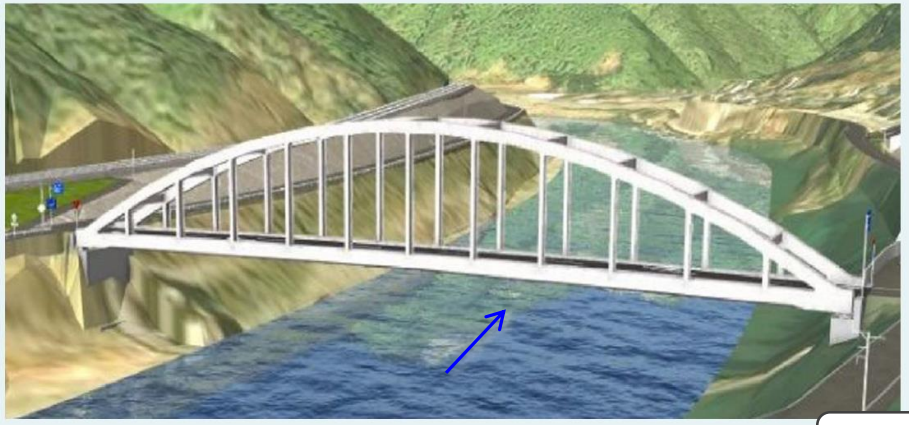
重点10項目

●県道球磨田浦線　神瀬橋の復旧状況

完成イメージ



鋼単純アーチ橋（ローゼ桁）



※色彩等については今後、関係者と協議の上

出典：第4回球磨川橋梁復旧技術検討会

鉄道の復旧

重点10項目

＜発災から2年の取組みと成果＞

≪くま川鉄道≫

◆ 令和3年11月28日、「肥後西村駅～湯前駅」間で部分運行開始

◆ 復旧工事の詳細設計完了

部分運行再開記念出発式

再開後、通学生で溢れる「肥後西村駅」

≪JR肥薩線≫

◆ 「肥薩線復旧を願うアピール集会」の開催
（令和4年3月　人吉市）

◆ 「JR肥薩線検討会議」の設置（令和4年3月）
構成：熊本県・国土交通省・九州地方整備局・九州運輸局・JR九州

◆ 「JR肥薩線再生協議会」の設置（令和4年4月）
構成：熊本県・地元12市町村

◆ 財政支援拡充に係る国への要望（令和4年6月）

＜今後の展望と取組み＞

≪くま川鉄道≫

・令和7年度中の全線運転再開に向けた復旧工事の実施

・くま川鉄道（株）・地元市町村と連携し、「くま川鉄道再生協議会」において復旧に向けた協議を実施

・国、県、市町村による財政支援の実施

既存橋桁・橋梁の撤去を実施

新しい「球磨川第4橋梁」（イメージ図）

≪JR肥薩線≫

・「JR肥薩線検討会議」において、引き続き復旧方法等を検討

・国の財政支援を求めるとともに、「JR肥薩線再生協議会」において、鉄道での復旧に向けた方策の検討や持続可能な運行に向けた利活用促進策等について、スピード感を持って協議を進める

第2回　JR肥薩線検討会議

第2回　JR肥薩線再生協議会

◆ ①くま川鉄道、②JR肥薩線の運休により通学困難となった生徒への通学支援（①R2.7～、②R2.9～）。R4年度も支援を継続。

児童生徒の心のケアと魅力ある学校づくり①

○ 児童生徒の心のケア

＜発災から2年の取組みと成果＞

心のケアが必要な児童生徒数（八代・芦北・球磨）

R2.10調査		R3.6調査
222人	⇒	72人

「令和2年7月豪雨に係る児童生徒の心のケアに関する調査」より

令和3年度のSC配置状況

3教育事務所の重点支援対象校14校に対して教育事務所配置SCを4人派遣。（R3.4～）

SC活動時間	
八　代	105時間
芦　北	105時間
球　磨	630時間
合　計	840時間

＜今後の展望と取組み＞

○豪雨対応のスクールカウンセラーの配置等により児童生徒等の心のケアを推進

令和4年度のSC配置状況

3教育事務所に対して豪雨対応の教育事務所配置SCを3人派遣。

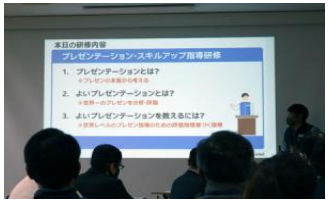
SC活動時間	
八　代	35時間
芦　北	70時間
球　磨	420時間
合　計	525時間

○ ICT教育の推進

＜発災から2年の取組みと成果＞

○世界的ＩＣＴ企業（グーグル、インテル等）と連携し、球磨川流域のＩＣＴ教育の方向性を策定

○グーグル等による教職員向けの端末活用研修や生徒向けのキャリア研修等を実施



「Google for Education パートナー自治体プログラム」に参画（R3.8）

インテルと連携した球磨中央高校教員向け研修（R4.1）

＜今後の展望と取組み＞

球磨川流域におけるＩＣＴ教育の方向性

【基本的考え方】
- 日本をリードするICT教育先進地域へ
- 子ども１人1人が夢の実現へ向けて学べる環境づくり
- 夢を実現するために、ICTを活用した学力・体力・技術力の向上

【主な取組み（実施中）】
ICT企業等と連携した以下の取組みの推進
- 各学校での特色ある取組みや地域課題の解決等に向けた取組み
- 教職員向けの基礎・応用研修や生徒向けのキャリア研修等の実施　等

目指す姿

球磨川流域から全国に発信し、世界とつながるICT教育の実現

熊本県 連携 **ICT企業等**

球磨川流域小・中・高校

児童生徒の心のケアと魅力ある学校づくり②

○県内各地の高校を結んだ遠隔授業や地域課題解決に向けた学びの推進による人材育成

＜ 発災から2年の取組みと成果＞

R3年度から遠隔授業の試行など準備を行い、R4年度から本格的な遠隔授業を開始。異文化理解の授業を県立教育センターから球磨中央高校に配信するなどの取組を行い、人材育成を推進。

＜今後の展望と取組み＞

○遠隔授業に加え、地域課題解決に向けた探究的な学びを推進

目的

多様な地域（熊本市・阿蘇・天草・人吉球磨）が一体となって地域課題解決に向けた探究活動（共同調査、意見交換、合同発表会等）を行うことにより、地域への貢献及び生徒の「生きる力」の育成に寄与する。

○産業人材育成と最新デジタル教育設備の導入

＜ 発災から2年の取組みと成果＞

産学官が連携した産業人材の育成

指定校
八代工業高校

産業界
（一社）熊本県情報サービス産業協会

デジタル教育設備導入（県内専門高校２０校、約１６億円）

工作機械（マシニングセンタ）　３Dプリンタ　産業用ロボット

＜今後の展望と取組み＞

○産学官一体となった持続可能な産業人材育成システムを構築

企業技術者　×　生徒の学び　×　デジタル教育設備

- ✓ 専門高校生のデジタル活用能力の更なる向上
- ✓ 主体的行動力・協働力による「課題解決へ導く力」の育成

○球磨川流域の学校の特色化・魅力化

＜ 発災から2年の取組みと成果＞

令和3年度に県指定を新たに創設し右表の4校をはじめ計40校を指定。

＜今後の展望と取組み＞

○各学校を学びに応じて特色化し魅力を推進

○球磨川流域の主な学校の県指定状況

高校	県指定	取組
人吉	ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ	人高BYH構想～地域と連携した探究活動による未来の復興を担う人材の育成～
球磨中央	ｸﾘｴｲﾄ	総合的な探究の時間「球磨地域学」等で地域資源の活用についての探究
南稜	ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ	地域の未来を担う豊かな創造力と技術を持った産業人の育成
芦北	ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ	ＩＣＴを活用した鳥獣被害対策及びジビエ料理の開発と普及

【参考】
県立高等学校あり方検討会の提言（R3.3）を 踏まえ、「魅力ある学校づくりに向けた14の取組」を実施中
※提言期間R3～R6

地域の魅力の
向上と誇りの回復

観光地人吉・球磨の復活①

重点10項目

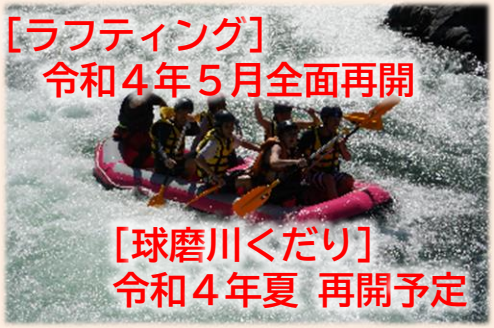
発災から2年の取組みと成果

観光施設等の再開支援

○人吉温泉

復旧率（R4.5月末）
84.8%
（5施設が復旧中）

○球磨川くだり・ラフティング



○球泉洞

○文化財

被災した国・県指定等文化財の約5割が復旧（R4.5月末時点）

※国・県指定等文化財の43件が被災

観光地域づくりの推進と旅行需要の喚起

○『人吉球磨豪雨被災地観光復興戦略』の策定（R3.3.31）
地域と方向性を共有し、３つの柱に沿った取組みを実施

1 豊かな自然を生かした球磨川ゆかりの新たなツーリズムの創造

2 まち並みや地域の資源を生かした宿泊を促す観光コンテンツの充実

3 伝統や文化とIoTを融合させるスマート観光の推進

▲初心者向けラフティング
商品の開発・販売の支援

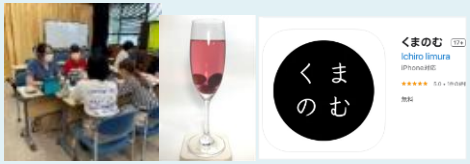
▲「夏目友人帳」と連携した
魅力発信動画（約70万回再生）

▲ デジタルマップ作成

○「くまもと再発見の旅」等による旅行需要喚起（R3.10～）
- 「くまもと再発見の旅」における被災地重点支援
- 宿泊を要件とした、観光バスやレンタカー費用に係る助成

球磨焼酎の“トップ・オブ・ザ・ワールド戦略”

○大学・企業との連携による情報発信や販路拡大支援



熊大によるカクテルレシピ開発等の情報発信
県立大による球磨焼酎アプリの開発

蔵元と米国企業の連携によるアメリカ輸出
卸会社と海運会社の連携による中国輸出

○イベント出展等による認知度向上・消費拡大

（熊本）飲食店における球磨焼酎フェア

（大阪）吉本興業と連携したオンラインキャンペーン

（国内外コンペティションにおける受賞状況）

プラチナ賞

Kura Master2021

最優秀金賞

SFWSC2021

最高金賞

TWSC2021

観光地人吉・球磨の復活②

重点10項目

今後の取組みと展望

♦ 観光地域づくりの更なる推進

◎球磨川ブランドの創造を核とした持続可能（SDGs）かつ地元経済に資する観光地域づくりを推進

1　豊かな自然を生かした球磨川ゆかりの新たなツーリズムの創造

○ スポーツとの融合
- ・SUP等の新たな球磨川アクティビティの導入
- ・サイクルツーリズムの推進

○ 恵まれた泉質（温泉）・豊富な食の活用
- ・ウェルネスツーリズムの推進

▲ 球磨川でのSUP

▲ 川辺でのテントサウナ

2　まち並みや地域の資源を生かした宿泊を促す観光コンテンツの充実

○ 宿泊や消費を促す上質な“まち灯り”の整備

○ マンガ・アニメ等コンテンツの活用
- ・「夏目友人帳」と連携した周遊企画等の実施（Kumaラボも活用）

▲ まちあかりの整備

▲ 「夏目友人帳」原作20周年
アニメ15周年（R5）

3　伝統や文化とIoTを融合させるスマート観光の推進

○ デジタルマップを活用したIoTおもてなし
- ・観光、サイクリング、防災情報を搭載

○ ワーケーションの推進

▲ デジタルマップの活用

▲ コワーキングスペースの活用

♦ 旅行需要の回復支援

◎国の動きや感染状況を見ながら旅行助成事業を実施。
　併せて、被災地への送客支援事業により、旅行需要の回復を支援

くまもと再発見の旅 → **新たな観光需要喚起策** → **GoToトラベル(国)** → **GoToトラベル(くまもと版)**

豪雨被災地送客促進事業

観光地人吉・球磨の復活③

重点10項目

今後の取組みと展望

♦ 球磨焼酎の“トップ・オブ・ザ・ワールド戦略”

球磨焼酎の魅力発信

球磨焼酎の歴史や文化、蔵元のこだわり等に焦点をあてた魅力の発掘及び情報発信

球磨焼酎交流会や酒蔵体験プラン造成等の酒蔵ツーリズムの推進等による需要喚起

歴史ある球磨焼酎の魅力を知る人が増え、多くの人が球磨焼酎を飲みたくなる。

球磨焼酎の販路拡大

球磨焼酎の消費拡大のための百貨店や飲食店等と連携した球磨焼酎フェアの開催

球磨焼酎の販路拡大のための商談会や展示会、コンペティション等への出展支援

ブランド力が高まった球磨焼酎を国内外の多くのお店が取扱うようになる。

「 球磨焼酎」を熊本が誇る世界のトップブランドに

くまもと復興映画祭　球磨川特別編

「映画の力で頑張る人を後押ししたい」という行定勲監督の想いの下、くまもと復興映画祭実行委員会と、県・流域市町村が連携し、令和4年5月22日に「くまもと復興映画祭　球磨川特別編」を開催

メイン会場
（人吉市）

サブ会場

（八代市坂本町）

（芦北町）

（球磨村）

上映作品

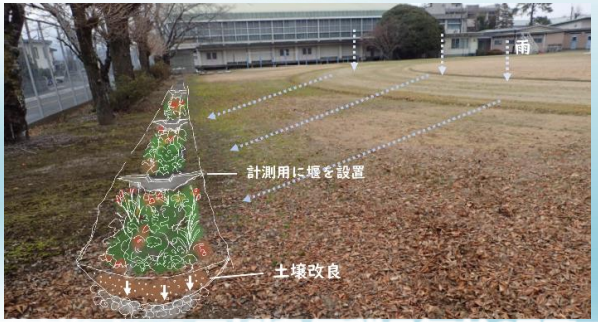
「水と火と木、そして再生の物語」
「ちょっと思い出しただけ」
「ある船頭の話」

球磨川流域大学構想

球磨川流域を１つのキャンパスと位置づけ、球磨川流域の**魅力ある自然や恵みを生かした様々な「学び」「研究」「交流」の場を創出**することで、**若者が"残り""集まる"魅力あふれる地域の実現**を目指す。

最先端治水研究

◆雨水浸透施設設置



・南稜高校において、雨水貯留・浸透施設（雨庭）の設置に向け、場所や、生徒との連携方法等について、関係者と協議を実施

◆森林の保水力調査

・南稜高校と熊本県立大学、東京大学が連携し、南稜高校演習林で調査を開始

◆研究拠点の開設

・熊本県立大学の「地域共創拠点」プロジェクトの現地拠点を人吉市に開設

地域課題の解決

◆地域課題マッチングプラットフォーム「ひごラボ」

・キックオフイベント

・地域課題の収集及び外部からの提案を促進するHPがオープン

・"「ひごラボ」第1号プロジェクト"地域物産品販路開拓のための飲食付きオンラインイベントが始動
・プロボノ支援や通信インフラ等、新たなマッチングに向け協議を実施

"学び・交流"の場の創出

◆ 球磨川流域圏バーチャルキャンパス

・今年度は講座数を大幅に増加 （R3：4講座→R4：17講座）
・球磨川流域の自然や歴史・文化等、幅広い講座内容で開校
・「危機感共有と命を守る災害報道連携会議」のアドバイザーも講座を担当

復旧・復興プランの実現に向けて

復旧・復興事業の着実な実施に向けた取り組み
①令和2年7月豪雨に係る職員確保状況（令和4年度分）

○被災7市町村から計67人の派遣要望あり。

○これに対して、県内外の自治体から計45人の中長期（最短1カ月～最長1年程度。以降は更新。）の職員派遣が決定し、４月１日から受入れ（前年度からの継続派遣を含む）。

○これに加え、任期付職員等13人も業務に従事。

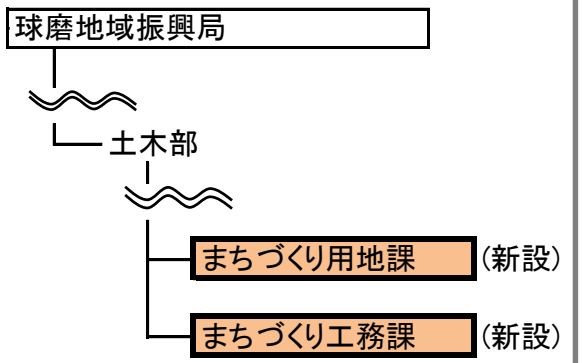
○未充足の9人分については、引き続き、全国の自治体に対し職員派遣を要請するとともに、被災市町村における任期付職員の採用や民間委託等による対応を促していく。

○また、球磨地域振興局土木部の組織を拡充し、人吉市及び球磨村の復興まちづくりを支援していく。

令和4年6月現在　（単位：人）

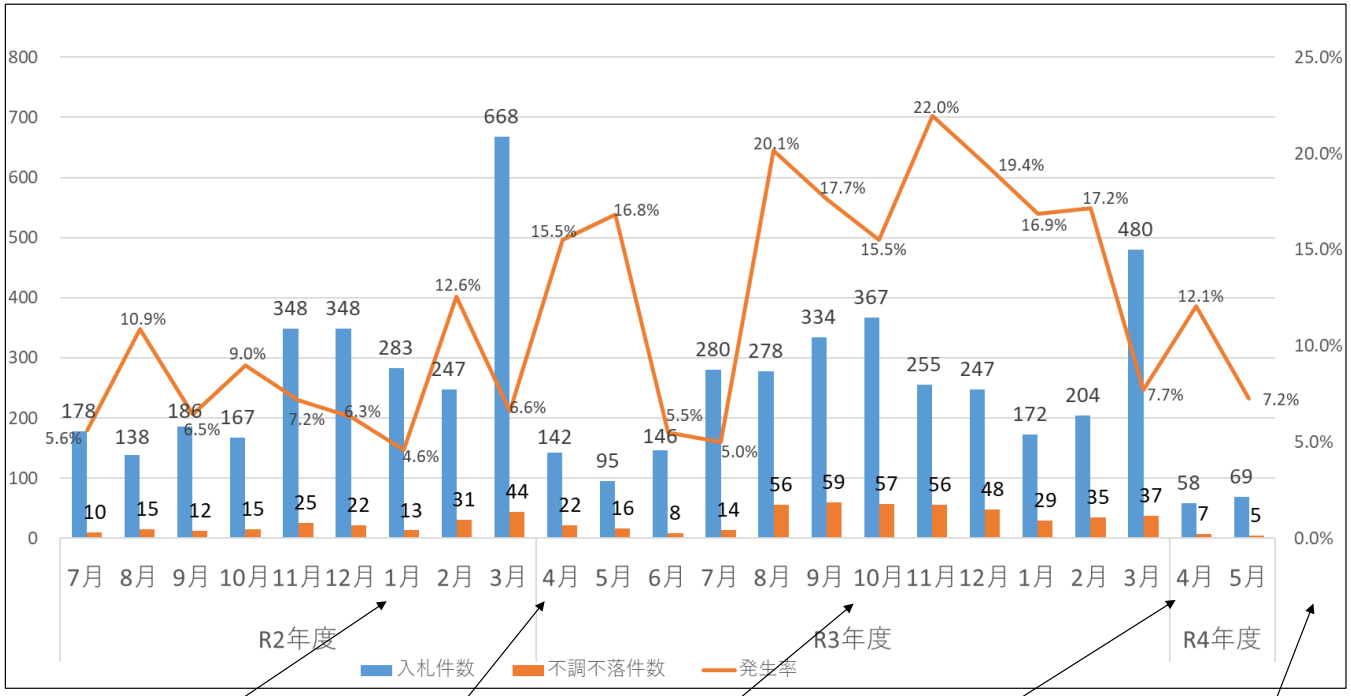
市 町 村	要望数	対応			備　考
		職員派遣	任期付職員採用等	合計	
八代市	8	4	3	7	
人吉市	23	16	7	23	別途、県職員3人派遣
小国町	2	2	0	2	
芦北町	9	8	1	9	
五木村	2	0	1	1	
山江村	3	0	0	0	
球磨村	20	15	1	16	別途、県職員3人派遣（副村長除く）
計	67	45	13	58	未充足　9人

・人吉市の青井地区土地区画整理事業及び球磨村の渡地区被災住宅移転促進宅地整備事業を県において実施するため、球磨地域振興局土木部に専任組織を新設（令和４年４月）。



復旧・復興事業の着実な実施に向けた取り組み
②令和2年7月豪雨災害以降の不調不落の推移と入札契約制度の見直し状況

●県工事の不調・不落率は、令和２年７月豪雨災害以降、豪雨災害の被災地を中心に上昇し、令和３年８月から１１月にかけてピークとなった。
●これまで指名競争入札対象の拡大や、復興ＪＶの導入など計５回の入札制度の見直しを行っており、引き続き、不調・不落対策に取り組んでいく。



主な不調不落対策

【第1弾】
R3.1～
・災害関連等工事の指名競争入札の対象拡大

【第2弾】
R3.4～
・指名競争入札の対象拡大に国土強靭化事業等を追加し、R3.9までの終期設定

・総合評価落札方式（簡易型）の対象拡大

【第3弾】
R3.10～R4.3
・災害関連等工事（土木一式工事）の指名競争入札の対象拡大を延長

R3.11～R5.3
・災害型総合評価制度・復興JVの導入

【第4弾】
R4.4～R4.9
・指名競争入札の対象拡大の延長

R4.4～R5.3
・復興JVの一部見直し（A2参入の促進）

※A2・A2JVの請負対象金額を1億7000万円に引き上げ（引上げ前：1億4000万円）

※新たな取組み

【第5弾】
R4.7～R5.3
・災害関連等工事（土木一式工事B等級）の発注標準引き上げ

※B等級発注標準を500万円～3000万円に見直し（見直し前：500～1500万円）
※対象地域：県南広域本部、芦北地域振興局、球磨地域振興局管内

令和2年7月豪雨の後世への伝承（アーカイブ化）

○国・県・市町村では、令和2年7月豪雨及びその対応等についても、後世に残し今後の防災等に役立てられるよう、写真や映像等の関連資料を取りまとめ、HPでの公開や書籍化を実施。また、災害遺構の保存・展示の取組などが進められている。

■令和2年7月豪雨及びその対応等の取りまとめ

【熊本県での取組事例】

熊本災害デジタルアーカイブ(ホームページ)

◂令和2年7月豪雨における災害対応の振り返り（冊子）

【国土交通省の取組事例】

球磨川水害伝承記(ホームページ)

◂球磨川水害対応記録（冊子）

【球磨村の取組事例】

アーカイブくまむら(ホームページ)

球磨村災害「語り部」学習会の開催

◂球磨村災害記録誌（冊子）

■遺構保存

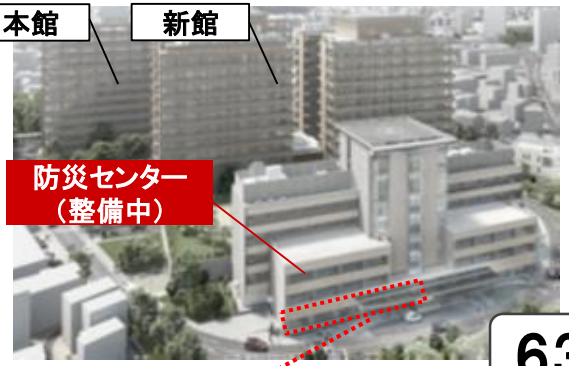
球磨川第一橋梁（八代市）

第二球磨川橋梁（球磨村）

■震災等ミュージアムの整備

新防災センター1階に令和2年7月豪雨災害も含め、熊本県が経験した自然災害に関する展示を実施
（R5．4オープン予定）

防災センターイメージ図▸



1階　震災等ミュージアム（展示室）

国への要望活動

○　豪雨災害後、**７回の要望活動を実施し、なりわい再建支援補助金や国の権限代行による国道や橋梁、球磨川支川の復旧工事などが実現**。
○　令和４年５月には、蒲島知事、溝口議長が関係省庁を訪問し、豪雨災害への支援に対する御礼と豪雨災害からの復旧・復興等に係る要望活動を実施。

岸田総理への要望活動(R3.11)

上記以外の主な要望実現項目

要　望　テ　ー　マ	実　現　内　容
激甚災害等の早期指定	「特定非常災害」　⇒R2.7.14閣議決定 「激甚災害(本激)」　⇒R2.8.25閣議決定
すまいの再建	応急修理と仮設住宅の併用が可能に
廃棄物処理	「半壊」家屋が公費解体の対象に
被災者支援の拡充	再建支援金の対象に「中規模半壊」追加
財政支援の拡充	緊急防災・減災事業債の拡充等

【R4年5月の要望項目】
- ●球磨川水系流域治水プロジェクトの着実な推進
- ●被災地域の新たなまちづくりの推進
- ●五木村・相良村の振興

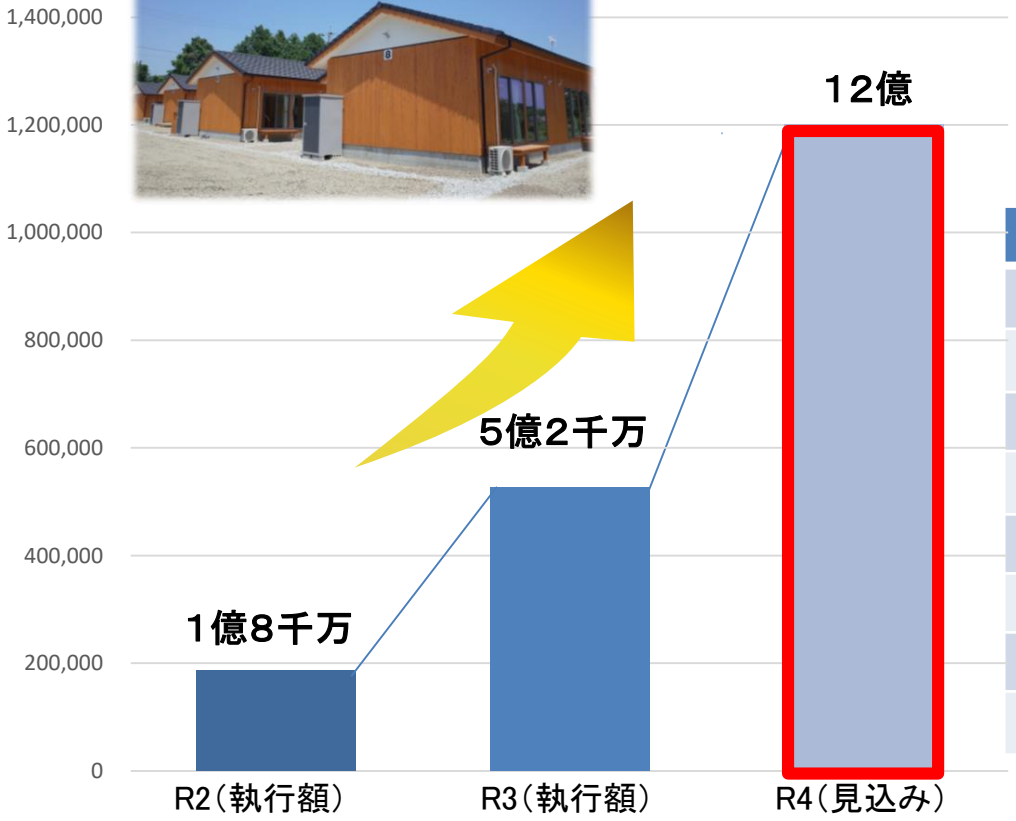
※他13項目

金子総務大臣への要望活動(R4.5)

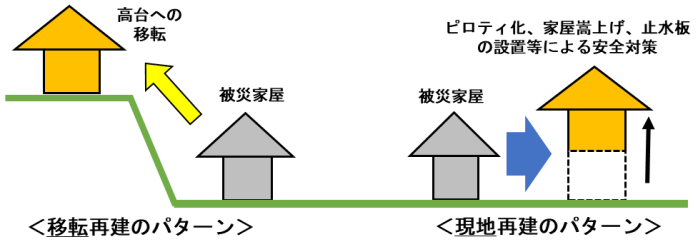
球磨川流域復興基金の執行状況

○　復旧・復興が進むに連れ、顕在化する様々な問題に対応していくため、各課と連携し支援メニューの追加検討の結果、R4当初に3事業を追加し、32の事業メニューにより支援。

○　令和4年度は、総額12億円の予算を確保。**令和4年度は、既存のメニューに加え、各市町村特有の新たな課題に対して、きめ細かに、かつ迅速に対応できるよう、別途2億円を確保**。



すまいの安全確保支援（イメージ）



（内訳）	R2	R3	R4（見込み）
生活支援	2,885	7,868	11,184
宅地の復旧支援	38,694	107,395	12,666
住まいの再建支援	6,310	75,736	442,389
施設等の復旧支援	14,027	103,003	122,125
産業支援	2,363	10,318	24
防災・減災対策	122,298	222,363	412,841
新たなメニュー	—	—	200,000
計	**186,577**	**526,683**	**1,201,229**

（千円／単位）

五木村・相良村の振興について

○　６月５日に知事が五木村を訪問し、村民の皆様へ、「緑の流域治水」の推進を決断した経緯と村の振興にかける決意、流水型ダムを前提とした新たな村の振興計画の方向性を説明。

○　今後も、村民の皆様の御意見を丁寧にお聴きしながら、新たな五木村の振興計画の策定を目指すとともに、現行の「ふるさと五木村づくり計画」に沿った取組みを切れ目なく実施し、更なる五木村の振興を推進。

○　流水型ダムの建設予定地となる相良村についても、７月２日に知事が訪問し、村民の皆様の御意見をお聴きした。今後、県庁内に新たな推進体制を構築し、相良村の振興を推進。

新たな五木村振興計画に係る村民説明会
（宮園会場）

ふるさと五木村づくり計画
令和4年度 実施計画

国道445号（九折瀬地区）の整備

川辺川での掘削（宮園地区）

参考資料

令和2年7月豪雨発災2年関連行事一覧

≪犠牲者追悼式等≫

行事名	開催日・会場
令和2年7月豪雨犠牲者追悼式	開催日：7月3日（日）10時～11時　（追悼式典） 11時～14時　（一般献花） 会場：坂本中学校体育館
	開催日：7月3日（日）10時～11時　（追悼式典） 11時～14時　（一般献花） 会場：人吉市カルチャーパレス小ホール
	開催日：7月24日（日）10時～11時　（追悼式典） 12時～15時　（一般献花） 会場：芦北町民総合センター（しろやまスカイドーム）
	開催日：8月7日（日）10時～11時　（追悼式典） 11時～13時　（一般献花） 会場：球磨中学校体育館
令和2年7月豪雨犠牲者一般献花	開催日：7月4日（月）8時～16時 会場：津奈木町平国地区　村上廣様　屋外倉庫

≪関連行事等≫

行事名	開催日・会場
復興祈念事業竹灯籠づくり	開催日：6月19日（木）～7月10日（日） 会場：山江温泉ほたる入口
復興むらづくりカフェ	開催日：6月23日（木）19時～20時30分 会場：時代の駅むらやくば
浸水住宅復旧のための講習会	開催日：6月24日（金）14時～16時10分 会場：ホテル熊本テルサ
福岡　令和2年7月豪雨復興支援パネル展	開催日：7月1日（金）～7月31日（日） 会場：大丸福岡天神店本館地下2階南側連絡通路

行事名	開催日・会場
ひとよし復興パネル展	開催日：6月25日（土）～7月12日（火） 会場：人吉復興ビジターセンター「COCO　Kara」
復旧から復興へ！頑張る商店街の魅力向上事業	開催日：7月～11月（予定） 会場：モゾカタウン、コンテナマルシェ
2022 八代・さかもと復興応援 in COCOSA	開催日：7月1日（金）～10日（日）　※復興状況を伝えるパネル等展示 7月9日（土）～10日（日）　※物産展 会場：COCOSA　3階テナント
令和2年7月豪雨復興祈念七夕飾り	開催日：7月2日（土）15時～17時 会場：道の駅さかもと

※日程順に記載しています。
※概要及び問合せ先については、県HPに掲載しています。

行事名	開催日・会場
くまモンスクエアイベント 人吉観光PRステージ	開催日：7月2日（土）15時～15時30分 会場：くまモンスクエア
令和2年7月豪雨災害復興支援　鎮魂と希望の集い『支え合おう熊本！今こころひとつに』	開催日：7月3日（日）10時～15時 会場：人吉市九日町・紺屋町商店街内
令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第10回）	開催日：7月4日（月）10時 会場：県庁本館5階審議会室
銀座熊本館　いぐさ・くまもと県南復興フェア	開催日：7月5日（火）～7月25日（月） 会場：銀座熊本館
球磨焼酎フェア	開催日：7月中旬～8月 会場：首都圏の百貨店・量販店、酒販売店
県政広報ラジオによる復旧・復興に関する情報発信	放送日：7月13日（水）10時25分～10時30分
宮原サービスエリア人吉復興イベント	開催日：7月16日（土）～7月17日（日） 会場：九州自動車道　宮原サービスエリア（上下線）
球磨村復興灯篭流し	開催日：7月22日（金）19時～ 会場：球磨村渡茶屋地区河川敷
福岡　くまもと県南復興支援マルシェ	開催日：7月23日（土）～24日（日） 会場：エルガーラ・パサージュ広場（福岡市）
銀座熊本館　球磨焼酎フェア	開催日：7月26日（火）～8月8日（月） 会場：銀座熊本館
県広報紙による情報発信	発行日：7月28日（木）
復興村づくりフォーラム	開催日：7月28日（木）18時30分～20時00分 会場：山江村農村環境改善センター

行事名	開催日・会場
さがら夏祭り	開催日：7月30日（土）13時～20時 会場：さがら温泉「茶湯里」
人吉・球磨　復興応援和太鼓コンサート	開催日：7月31日（日） 会場：人吉カルチャーパレス小ホール
県政テレビによる情報発信	放送日：8月10日（水）
KUMAKOI祭り2022 頑張ろうひとよしくま	開催日：10月～11月（予定） 会場：あさぎり駅前公園付近、おかどめ幸福駅前付近、湯前駅付近
福岡　もっと、も一っと熊本展	開催日：10月5日（水）～10月10日（月） 会場：大丸福岡天神店8階催事場
火の国ファイティング（ボクシング）	開催日：10月16日（日） 会場：芦北町民総合センター（しろやまスカイドーム）
球磨村復興まつり	開催日：10月23日（日） 会場：渡小学校一円
福岡　飲んでみんね！球磨焼酎キャンペーン	開催日：11月1日（火）～11月30日（水） 会場：福岡市内飲食店
“復興人吉”スカイランタン事業	開催日：11月5日（土）または11月12日（土） 会場：ひとよし歴史の広場、国宝青井阿蘇神社、鍛冶屋町通り
第1回球磨川リバイバルトレイル　ショートコース大会	開催日：11月20日（日）8時～（予定） 会場：球磨村
火の国うたまつり	開催日：11月22日（火）12時30分～15時30分　※火の国うたまつり 10時00分～16時30分　※県南復興マルシェ 会場：くまモンポート八代
第2回球磨川リバイバルトレイル	開催日：令和5年3月11日（土）～3月12日（日）（予定） 会場：八代市、山江村、五木村、球磨村、水上村

※日程順に記載しています。
※概要及び問合せ先については、県HPに掲載しています。